



marantz®

ネットワークオーディオプレーヤー
NA8005

取扱説明書

目次

使用上のご注意	5
携帯電話使用時のご注意	5
お手入れについて	5
結露(つゆつき)について	5
付属品	6
リモコンについて	7
乾電池の入れかた	7
リモコンの使いかた	8
Marantz “Hi-Fi Remote” App について	8
本機の特長	9
高音質	9
多彩な機能	10
各部の名前	11
フロントパネル	11
リアパネル	13
リモコン	15

接続のしかた

アンプを接続する	19
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	20
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	21
パソコンと接続する	22
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する	23
ホームネットワーク(LAN)に接続する	25
有線 LAN	25
必要なシステム	26
その他の接続	27
RS-232C 接続	27
FLASHER IN 端子	28
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	29
接続	29
設定	29
電源コードを接続する	30

再生のしかた

基本操作	32
電源を入れる	32
入力ソースを選ぶ	33
ディスプレイの明るさを切り替える	34
デジタル音声出力を停止する	34
スリープタイマーを設定する	34
インターネットラジオを聴く	35
インターネットラジオを聴く	36
vTuner でインターネットラジオ局をお気に入り登録する	38
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	39
メディアの共有設定をおこなう	40
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	41
くり返し再生する (リピート再生)	42
順不同に再生する (ランダム再生)	42
お気に入り機能	44
放送局またはファイルをお気に入りリストに登録する	45
お気に入りリストに登録した放送局またはファイルを呼び出す	45
お気に入りリストから放送局またはファイルを削除する	46

iPod の再生	47
iPod を再生する	48
くり返し再生する (リピート再生)	49
順不同に再生する (ランダム再生)	49
iPod を取り外す	50
iPod の充電	50
USB メモリーを再生する	51
USB メモリーに保存されているファイルを再生する	52
くり返し再生する (リピート再生)	53
順不同に再生する (ランダム再生)	53
USB メモリーを取り外す	53
AirPlay 機能	55
iPhone、iPod touch の音楽ファイルを本機で再生する	56
iTunes の音楽を本機で再生する	57
複数のスピーカー (機器) を選ぶ	57
Remote play 機能	58
それぞれの機器に必要な設定	59
ウェブコントロール機能	61
D/A コンバーター機能で再生する (USB-DAC)	64
パソコンと接続して再生する (USB-DAC)	65
デジタル機器と接続して再生する (Coaxial/Optical)	73

設定のしかた

メニュー一覧	74
文字入力について	77
一般	79
オーディオ出力	79
音量の上限	79
言語	80
オートスタンバイ	80
ファームウェア	81
ネットワーク	83
ネットワーク情報	83
ネットワーク制御	83
フレンドリ名	83
詳細な設定	84
音量調節ボタンのリモコンコードを設定する	86
リモコンコードを“可変出力”に設定する	86
リモコンコードを“アンプ”に設定する	86

困ったときは

目次	87
こんなときの解決方法	88
故障かな?と思ったら	89
お買い上げ時の設定に戻す	97
保証と修理について	98

付録

USBメモリーの再生について	99
D/Aコンバーターについて	100
インターネットラジオ局の再生について	101
パソコンやNASに保存されているファイルを再生する	102
用語の解説	103
登録商標について	106
主な仕様	107
索引	110

ステレオ音のエチケット



- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

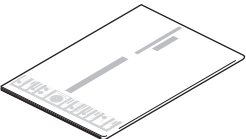

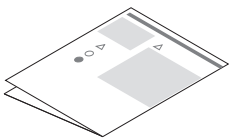
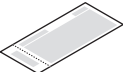
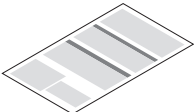
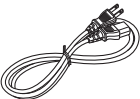
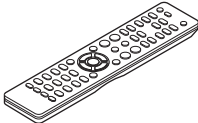


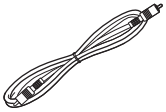
結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

付属品

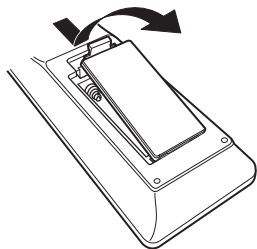
ご使用前にご確認ください。

 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>取扱説明書(本書)</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>保証書</p>
 <p>製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内</p>	 <p>電源コード【本機専用】</p>	 <p>リモコン(RC003NA)</p>	 <p>単4形乾電池(2本)</p>
 <p>音声ケーブル</p>	 <p>リモートコントロール接続ケーブル</p>		

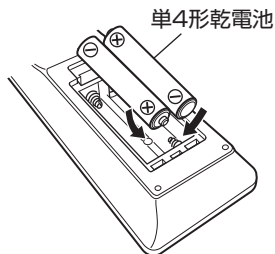
リモコンについて

乾電池の入れかた

① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げて取り外す。



② 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



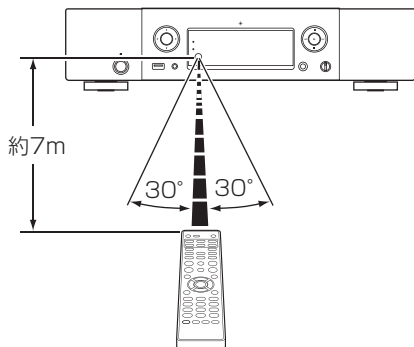
③ 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。



Marantz “Hi-Fi Remote” App について

Marantz “Hi-Fi Remote” App は iPad、iPhone、iPod touch および Android スマートフォン用に開発された独自のアプリケーションです。

ご家庭のマランツ製ネットワーク機器のコントロールをおこないます。

このアプリをインストールするとお手持ちの iPad、iPhone、iPod touch および Android スマートフォンから本機のご操作が可能です。



- 双方向通信をおこないません。
- Marantz “Hi-Fi Remote” App は Apple App Store、Google Play Store から無料でインストールできます。

本機の特長

高音質

• 大容量ブロックコンデンサ

回路には音質検討を重ねたオーディオ用 3,300 μ F 大容量コンデンサを搭載しています。

• 高音質フィルムコンデンサ、電解コンデンサ

本機では、上級機にも使用している高音質フィルムコンデンサやオーディオ用電解コンデンサを採用しています。

• オーディオ出力信号の影響を抑える周辺回路のオフ機能

本機から出力するアナログ音声信号に周辺回路からのノイズの流入を抑えるため、デジタル出力回路をオフにする機能や、ディスプレイを消灯する機能を搭載しました。

• ディファレンシャル入力の HDAM によるローノイズアンプと高速 HDAM[®]SA2 送り出しアンプによる低歪フィルター回路搭載

• ダブル・レイヤード・シャーシ

• 高級削り出しアナログ・オーディオ出力端子を搭載

• 高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載

HDAM[®]SA2 を搭載した高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載していますので、深夜にヘッドホンで音楽を聴くときなどに高音質でお楽しみいただけます。

多彩な機能

- DSD ファイルの再生に対応した USB-DAC 機能を搭載

- USB とネットワーク経由による DSD と FLAC ファイルの再生

高解像度のオーディオフォーマットである DSD (2.8/5.6MHz) や FLAC 192kHz ファイルの再生に対応しています。高解像度ファイルの高音質再生を実現しています。

- D/A コンバーターとして使用可能

外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を本機の D/A コンバーターでアナログ変換して出力できます。

- High Quality Audio 再生に対応

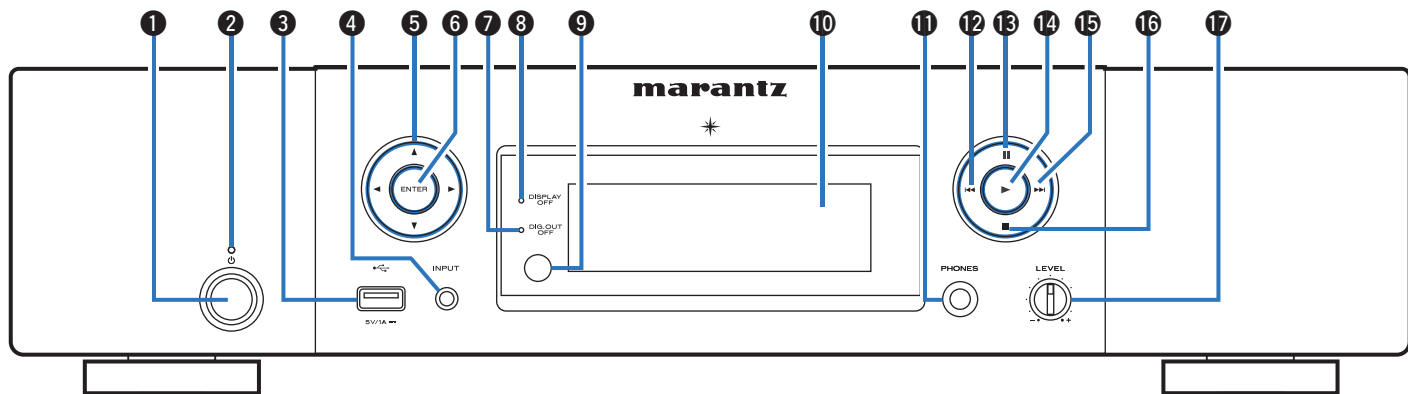
WAV/FLAC/ALAC (Apple Lossless Audio Codec)/AIFF/DSD

- インターネットラジオなどのネットワーク機能に加え、AirPlay®機能を搭載(23 ページ)

- USB メモリー(MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/AIFF/DSD)や iPod®/iPhone®の再生に対応
- DLNA(Digital Living Network Alliance) ver. 1.5 に準拠したネットワーク機能搭載
- Gapless 再生に対応
音楽ファイル間を途切れることなく再生できます。(WAV/FLAC/ALAC/AIFF/DSD のみ)
- iPod®を接続することで自動的に充電開始、充電完了後、本機の状態に合わせて消費電力を最適化するスマート充電コントロール(23 ページ)
- iPad®, iPhone®または Android スマートフォンで本機の基本的な操作がおこなえる Marantz “Hi-Fi Remote” app に対応
- 3行表示可能な有機 EL ディスプレイ搭載
- 電力消費をおさえるオートスタンバイモードを搭載

各部の名前

フロントパネル



① 電源ボタン(⏻)

本機の電源をオン/オフ(スタンバイ)します。
([P.32](#) ページ)

② 電源表示

本機の状態により次のように変わります。

- 電源オン時: 消灯
- 電源スタンバイ時: 赤色
- “ネットワーク制御” の設定が “オン” のとき: オレンジ色
- iPod が充電スタンバイのとき: オレンジ色

③ USB 端子

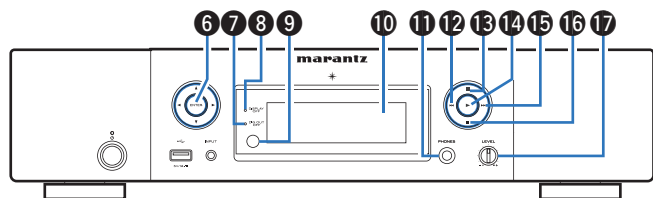
iPod または USB メモリーを接続します。([P.23](#) ページ)

④ 入力ソース選択ボタン (INPUT)

入力ソースを選択します。([P.33](#) ページ)

⑤ カーソルボタン(△▽◀▶)

項目を選択します。



6 エンターボタン(ENTER)

選択した内容を確定します。

7 デジタル音声出力オフ表示(DIG. OUT OFF)

デジタル出力回路がオフのときに点灯します。
([P.34](#) ページ)

8 DISPLAY OFF 表示

ディスプレイが消灯しているときに点灯します。
([P.34](#) ページ)

9 リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。

10 ディスプレイ

再生状態や設定などを表示します。

11 ヘッドホン端子(PHONES)

ヘッドホンを接続します。

ご注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

12 スキップ/早戻しボタン(◀◀)

再生中の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早戻しします。
([P.43](#)、[P.50](#)、[P.54](#) ページ)

13 一時停止ボタン(⏸)

再生を一時停止します。(P.43、P.50、P.54 ページ)

14 再生ボタン(▶)

再生をはじめます。(P.43、P.50、P.54 ページ)

15 スキップ/早送りボタン(▶▶)

次の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早送りします。
(P.43、P.50、P.54 ページ)

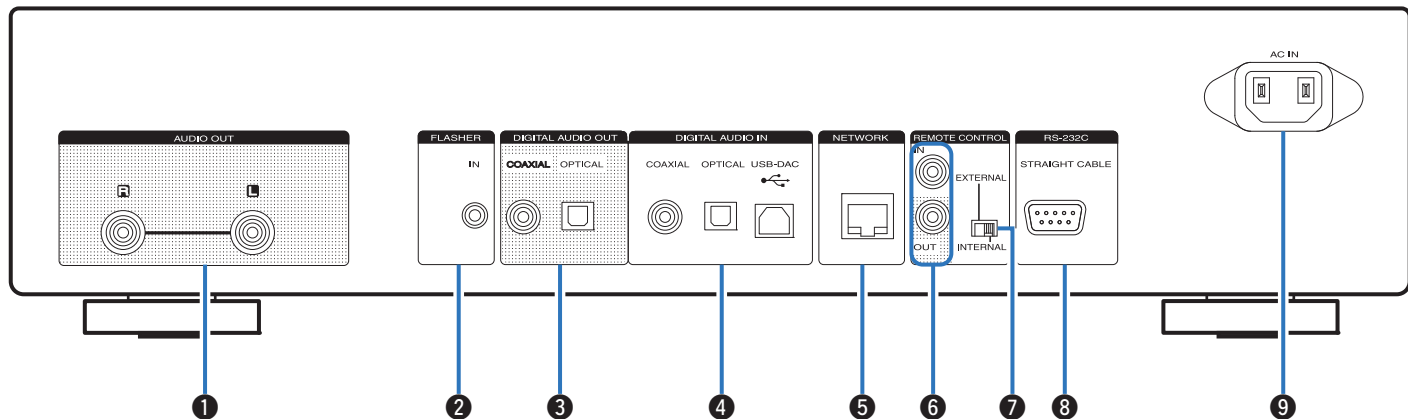
16 停止ボタン(■)

再生を停止します。(P.43、P.50、P.54 ページ)

17 ヘッドホン音量調節つまみ(LEVEL)

ヘッドホンの音量を調節します。

リアパネル



① 音声出力端子 (AUDIO OUT)

アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します。(☞ 19 ページ)

② フラッシャーイン端子 (FLASHER IN)

コントロールボックスなどを接続します。(☞ 28 ページ)

③ デジタル音声出力端子 (DIGITAL OUTPUT)

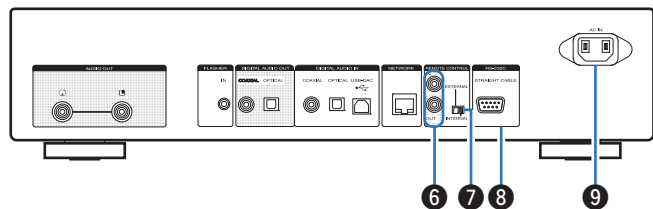
デジタル音声入力端子付きの AV レシーバーや D/A コンバーターを接続します。(☞ 20 ページ)

④ デジタル音声入力端子 (DIGITAL INPUT)

デジタル音声出力端子付きの機器やパソコンを接続します。(☞ 21 ページ)

⑤ ネットワーク端子 (NETWORK)

ネットワークに接続する際に LAN ケーブルを接続します。(☞ 25 ページ)



**⑥ リモートコントロール入出力端子
(REMOTE CONTROL IN/OUT)**

リモートコントロール機能付きのマランツ製アンプを接続します。(参照 29 ページ)

⑦ EXTERNAL/INTERNAL スイッチ

アンプとリモートコントロール接続し、スイッチを“EXTERNAL”に切り替えると、アンプがリモコン信号を受信して、本機はアンプからのリモコン信号を受けて動作します。(参照 29 ページ)

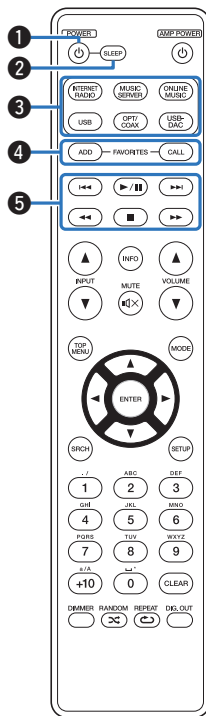
⑧ RS-232C 端子

外部コントロール機器と接続します。(参照 27 ページ)

⑨ AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(参照 30 ページ)

リモコン



このリモコンは、マランツ製品のプリメインアンプを操作できます。ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 一部操作ができない製品もあります。

① 電源操作ボタン(POWER ϕ)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(☞ 32 ページ)

② スリープボタン(SLEEP)

スリープタイマーを設定します。(☞ 34 ページ)

③ 入力ソース選択ボタン

入力ソースを選択します。(☞ 33 ページ)

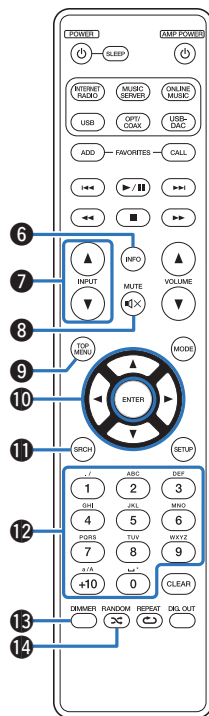
④ お気に入り登録/呼び出しボタン (FAVORITES ADD / CALL)

- お気に入りリストに放送局やファイルを追加するときに ADD ボタンを押してください。
- お気に入りリストに登録された放送局やファイルを呼び出すときに CALL ボタンを押してください。(☞ 45 ページ)

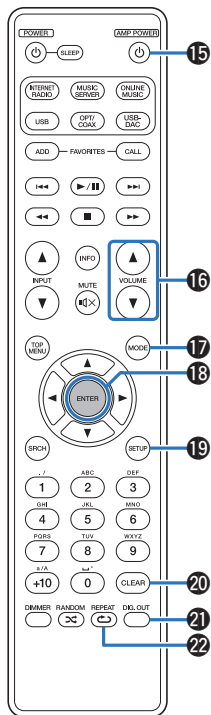
⑤ システムボタン

再生に関する操作をします。(☞ 43、50、54 ページ)

- スキップボタン(◀◀、▶▶)
- プレイ/ポーズボタン(▶/||)
- 早送り/早戻しボタン(◀◀、▶▶)
- ストップボタン(■)



- 6 インフォメーションボタン(INFO)**
 アルバム名やタイトル名などを表示します。(参照 36、43、50、54 ページ)
- 7 アンプ用入力ソース選択ボタン(INPUT ▲▼)**
 本機と接続しているアンプの入力ソースを切り替えます。(参照 33 ページ)
- 8 消音ボタン(MUTE ㊦)**
 本機と接続しているアンプを消音します。
- 9 トップメニューボタン(TOP MENU)**
 トップメニューに移動します。
- 10 カーソルボタン(▲▼◀▶)**
 項目を選択します。(参照 35、44、47、51 ページ)
- 11 サーチボタン(SRCH)**
 サーチメニューを表示します。(参照 36、43、54 ページ)
- 12 数字ボタン(0~9、+10)**
 文字や数字の入力をします。(参照 45、78 ページ)
- 13 ディマーボタン(DIMMER)**
 本機のディスプレイの明るさを調節します。(参照 34 ページ)
- 14 ランダムボタン(RANDOM ㊦)**
 ランダム再生をします。(参照 42、49、53 ページ)



- ⑮ **アンプ用電源ボタン(AMP POWER ⏻)**
本機と接続しているアンプの電源をオン/オフします。
- ⑯ **アンプ用音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)**
本機と接続しているアンプの音量を調節します。
- ⑰ **モードボタン(MODE)**
操作モードを切り替えます。(参照 48、50 ページ)
- ⑱ **エンターボタン(ENTER)**
選択した内容を確定します。(参照 35、44、47、51、76 ページ)
- ㉑ **セットアップボタン(SETUP)**
ディスプレイに設定メニューを表示します。(参照 76 ページ)
- ㉒ **クリアボタン(CLEAR)**
設定を取り消します。(参照 78 ページ)
- ㉓ **デジタル音声出力切り替えボタン(DIG. OUT)**
デジタル音声出力のオン/オフを切り替えます。(参照 34 ページ)
- ㉔ **リピートボタン(REPEAT ⇄)**
リピート再生をします。(参照 42、49、53 ページ)

接続のしかた

目次








アンプを接続する	19
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	20
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	21
パソコンと接続する	22
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する	23
ホームネットワーク(LAN)に接続する	25
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	29
電源コードを接続する	30

ご注意

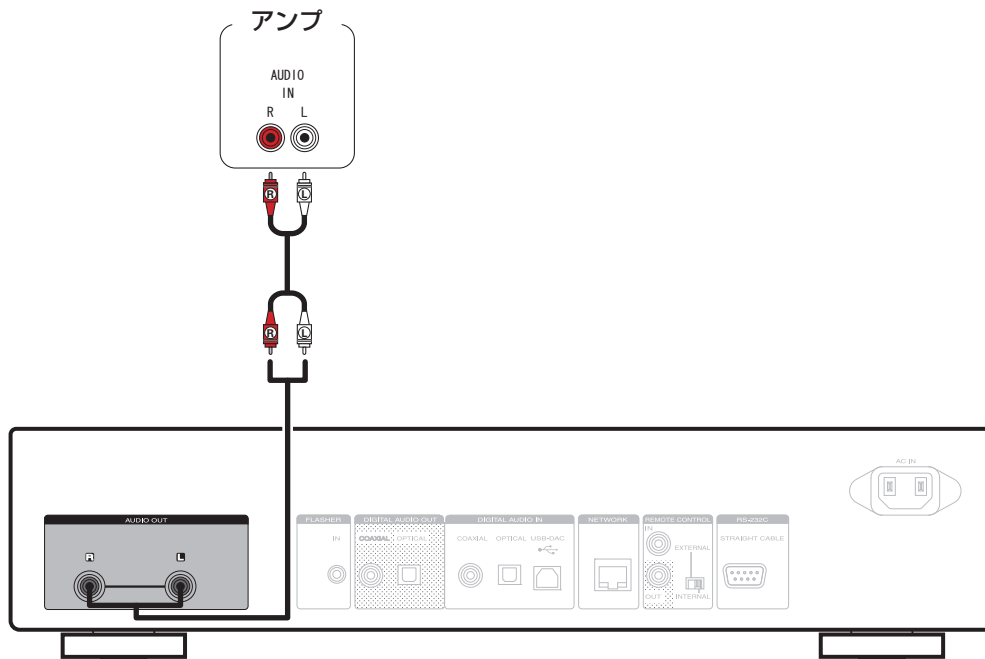
- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

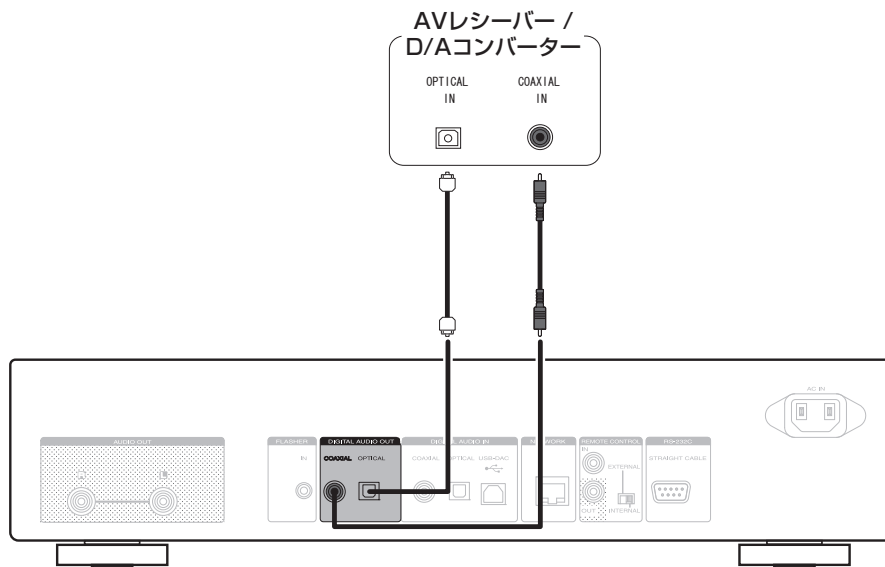
オーディオケーブル(付属)	
リモートコントロール接続ケーブル(付属)	
光伝送ケーブル(別売り)	
同軸デジタルケーブル(別売り)	
USB ケーブル(別売り)	
LAN ケーブル(別売り)	
モノラルミニプラグケーブル(別売り)	

アンプを接続する



デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

本機からデジタル音声信号を出力し、接続した機器の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生する接続です。

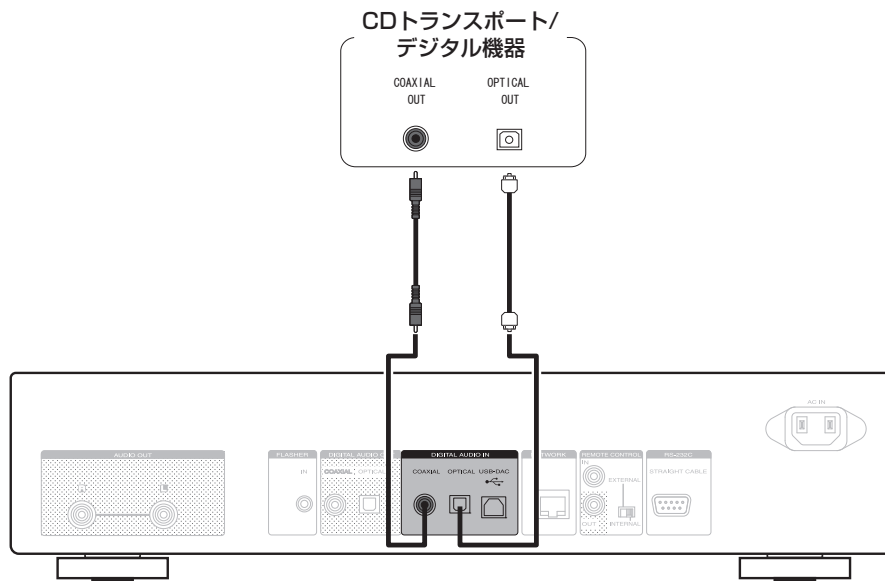


ご注意

- USB-DAC (DSD 信号およびサンプリング周波数が 32kHz のリニア PCM 信号) の再生中は、デジタル音声出力を停止します。
- リモコンの DIG. OUT ボタンでデジタル音声出力のオン/オフを設定できます。(P.34 ページ)

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力し、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生する接続です。(参照 73 ページ)

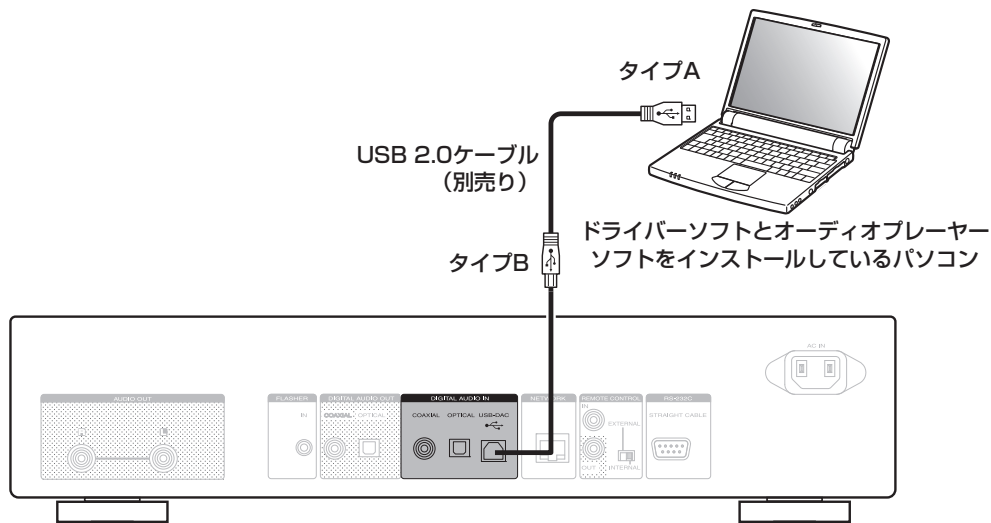


ご注意

- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

パソコンと接続する

本機のリアパネルのUSB 端子(USB-DAC)とパソコンを USB ケーブル(別売り)で接続すると、パソコンの音楽データを本機の D/A コンバーターで再生できます。(P.65 ページ)



- ハイレゾリューション音源(DSD 信号や 192kHz / 24bit の PCM 信号)を再生するには、本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。(P.65 ページ)
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトの NA8005 のページからダウンロードしてください。

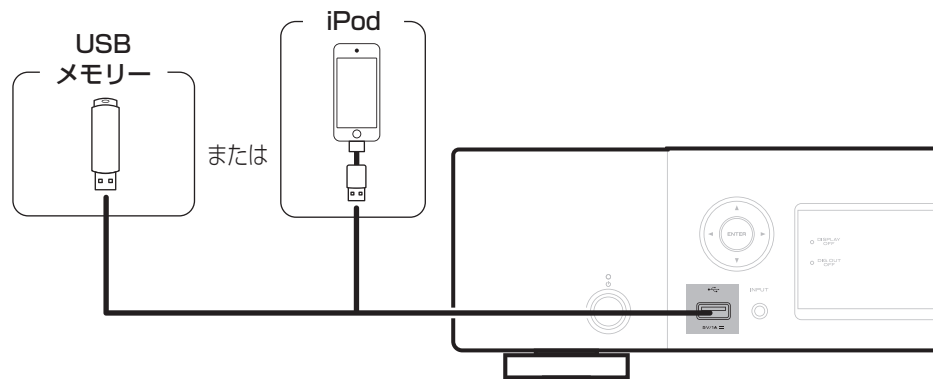
ご注意

パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する

iPod/iPhone や USB メモリー内の音楽を楽しむことができます。

- 本機と iPod/iPhone を接続するときは、iPod/iPhone に付属の USB ケーブルを使用してください。
- 操作のしかたは、「iPod を再生する」(P.48 ページ)または「USB メモリーを再生する」(P.51 ページ)をご覧ください。



すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機のフロントパネルの USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。パソコンと接続するときは、リアパネルのデジタル音声入力の USB-DAC 端子(タイプ B)と接続してください。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

■ 対応している iPod/iPhone

• iPod classic



iPod classic
80GB



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
160GB (2009)

• iPod nano



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
6th generation
8GB 16GB



iPod nano
7th generation
16GB

• iPod touch



iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
3rd generation
32GB 64GB



iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB



iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

• iPhone



iPhone 3G
8GB 16GB



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 4
8GB 16GB 32GB



iPhone 4S
16GB 32GB 64GB

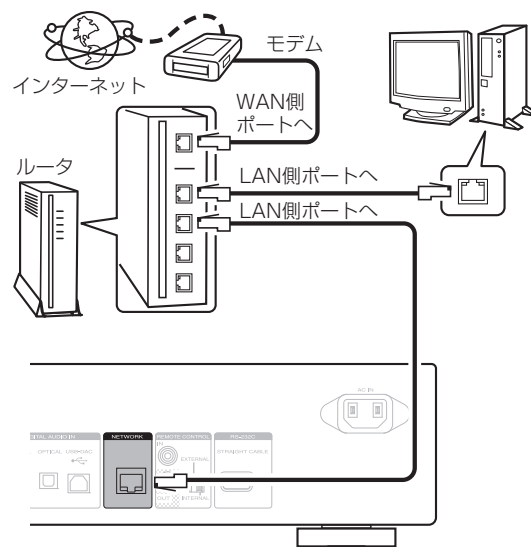


iPhone 5
iPhone 5c iPhone 5s
16GB 32GB 64GB

ホームネットワーク(LAN)に接続する

- 本機をホームネットワーク(LAN)に接続すると、パソコンに保存されている音楽ファイル、インターネットラジオの音声などをお楽しみいただけます。また、パソコンからウェブブラウザを使用して本機を操作することができます。
(「ウェブコントロール機能」(P.61 ページ))
- ネットワーク機能を使用して、最新のファームウェアにアップデートできます。詳しくは、「ファームウェア」(P.81 ページ)をご覧ください。
- ネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ネットワーク」(P.83 ページ)をご覧ください。

有線LAN



インターネットの接続については、ISP(インターネット・サービスプロバイダ)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

必要なシステム

■ ブロードバンド回線によるインターネット接続

■ モデム

ブロードバンド回線と接続して、インターネットと通信をおこなうための機器です。ルータと一体型のももあります。

■ ルータ

本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルータをおすすめします。

- DHCP サーバー内蔵
LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
- 100BASE-TX スイッチ内蔵
複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。

■ LAN ケーブル(CAT-5 以上を推奨)

- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルをお使いください。
- LAN ケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルをご使用になると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。



- ネットワークの設定を手動でおこなうタイプの回線で、プロバイダ契約を結んでいる場合は、「ネットワーク接続(“DHCP” の設定が“オフ” のとき)」([P.84 ページ](#))をおこなってください。
- 本機は DHCP 機能や Auto IP 機能を使用して、自動的にネットワークの設定をおこなうことができます。
- ブロードバンドルータ(DHCP 機能)をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合は、「ネットワーク接続(“DHCP” の設定が“オフ” のとき)」([P.84 ページ](#))で、IP アドレスなどの設定をおこなってください。
- 手動で設定する場合は、設定内容をネットワーク管理者に確認してください。

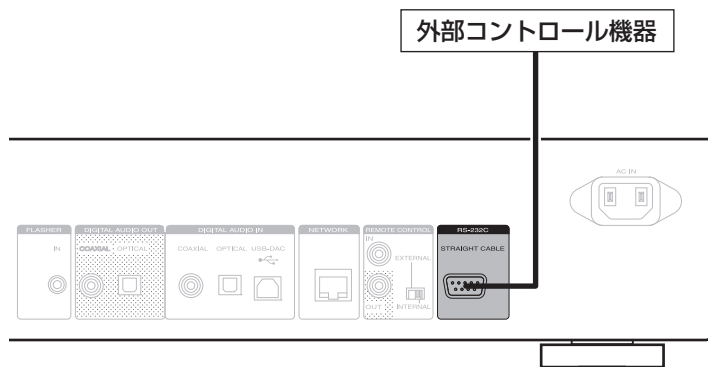
ご注意

- インターネットに接続するには、ISP と契約する必要があります。
- すでにブロードバンド回線を使用してインターネットに接続されている場合は、新たに契約する必要はありません。
- ISP 業者によって使用できるルータの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 当社では、お客様のネットワーク環境および接続機器に関する通信エラーや不具合については一切責任を負いかねます。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルータが必要です。
- NETWORK 端子は、直接パソコンの LAN ポート/イーサネット端子と接続しないでください。
- オーディオストリームをおこなう場合は、オーディオストリーム対応のルータを使用してください。

その他の接続

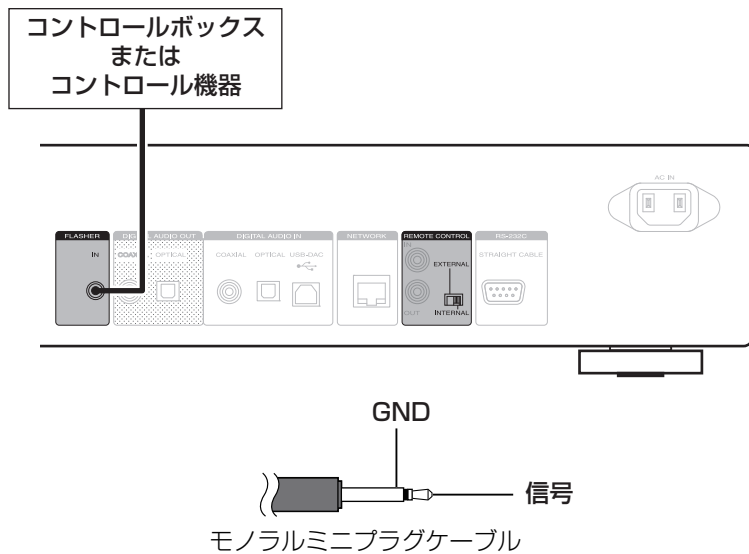
RS-232C 接続

外部コントロール機器と接続します。
(接続にはストレートケーブルを使用します。)



FLASHER IN 端子

コントロールボックスなどを接続することにより、本機をコントロールできます。



 FLASHER IN 端子を使用する場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL” に設定してください。

リモートコントロール端子付きの機器を接続する

本機とマランツ製のアンプの組み合わせで接続して使用すると、本機経由で Marantz Remote App や、ウェブコントロール機能を使ってアンプをコントロールすることができます。また、アンプで受信したリモコン信号を本機に伝達しコントロールできます。次の「接続」と「設定」をおこなってください。

接続

付属のリモートコントロール接続ケーブルで、本機の REMOTE CONTROL IN 端子とアンプの REMOTE CONTROL OUT 端子を接続します。

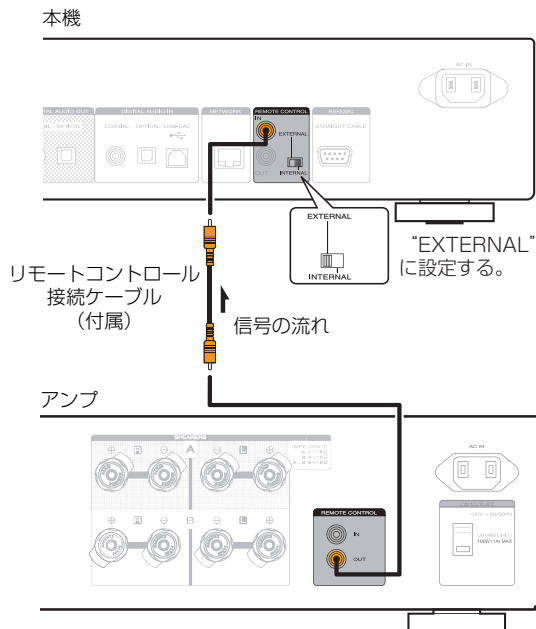
設定

本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“EXTERNAL”に切り替えます。

- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

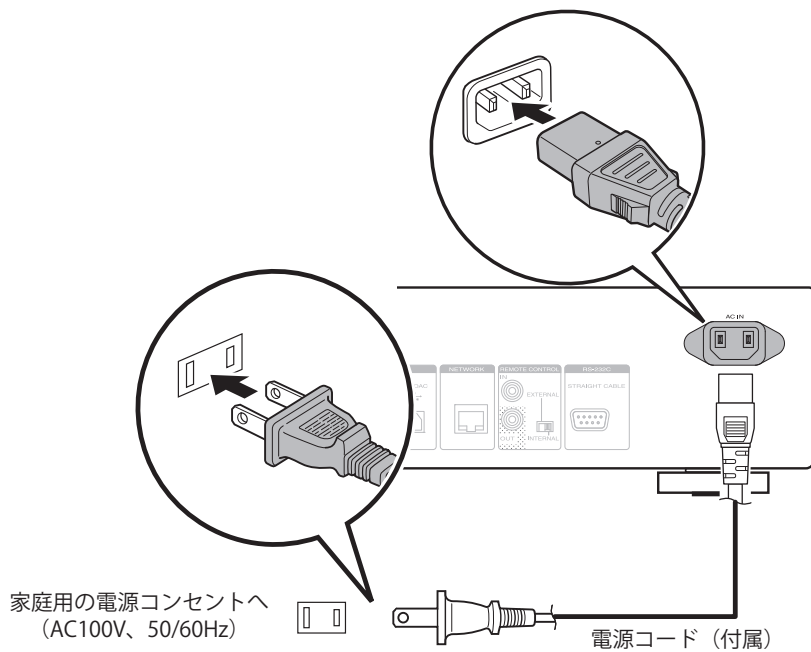


アンプを接続せずに本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

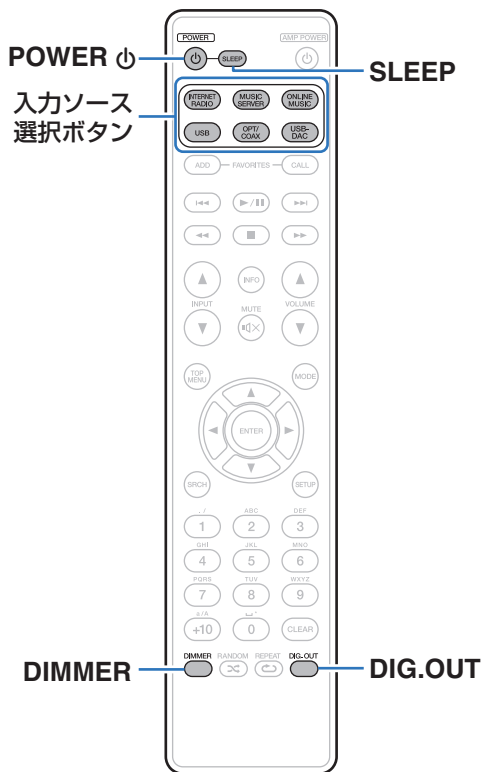


再生のしかた

■ 目次

基本操作	32
インターネットラジオを聴く	35
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	39
お気に入り機能	44
iPod を再生する	48
USB メモリーを再生する	51
AirPlay 機能	55
Remote play 機能	58
ウェブコントロール機能	61
D/A コンバーター機能で再生する(USB-DAC)	64

基本操作



電源を入れる

- 1 POWER を押して、電源を入れる。
電源表示が消灯します。



- 本体の を押しても電源を入れることができます。
- お買い上げ後、初めて電源を入れたときに“かんたん設定”メニューが起動します。“かんたん設定”の操作のしかたについては、別冊の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。
- “かんたん設定”メニューをキャンセルした場合、またはネットワーク環境を変更した場合は、“設定”－“かんたん設定”をおこなってください。

■ 電源をスタンバイにする

1 POWER を押す。

スタンバイ状態になります。

- 電源表示について
電源スタンバイ時: 赤色
“ネットワーク制御” 設定が “オン” のとき: オレンジ色
iPod が充電スタンバイのとき: オレンジ色

ご注意

電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 電源を完全に切るには

電源プラグを壁のコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

■ リモコンの操作で入力ソースを選ぶ

- #### 1 再生する入力ソース選択ボタンを押す。
- 入力ソースをダイレクトに選択できます。

■ 本体の操作で入力ソースを選ぶ

- #### 1 INPUT を押す。
- ボタンを押すたびに、入力ソースが切り替わります。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを4段階で調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIMMER を押す。



- ディスプレイの明るさを消灯にすると、ディスプレイに“DISPLAY OFF”を表示します。
- “消灯”設定時にボタン操作をおこなうと、一時的に100%の明るさで点灯します。

デジタル音声出力を停止する

デジタル音声出力を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIG. OUT を押す。

- ボタンを押すたびに、デジタル音声出力をオン/オフします。
- オフにすると、フロントパネルの“DIG. OUT OFF”表示が点灯します。

スリープタイマーを設定する

設定した時間後に、自動的に電源をスタンバイ状態にします。

1 再生中に SLEEP を押して、設定時間を選ぶ。

- 設定時間は10分間隔で最大90分まで選べます。
- 約3秒後、設定を確定しもとの表示に戻ります。

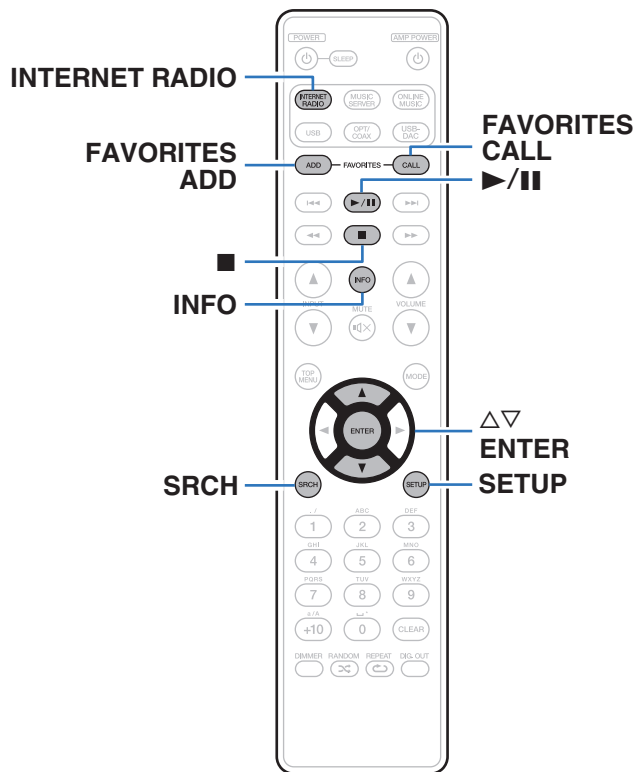
■ スリープタイマーを解除するには

SLEEP を押して“Sleep ▶ OFF”を選ぶか、POWER ❶ を押す。

■ スリープタイマーが動作するまでの時間を確認するには

SLEEP を押す。

インターネットラジオを聴く




- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機で再生できる放送局の種類は、次のとおりです。
 - WMA (Windows Media Audio)
 - MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)
 - MPEG-4 AAC

インターネットラジオを聴く



本機は前回再生したインターネットラジオ局を記憶しています。INTERNET RADIO を押すと、他の入力ソースからインターネットラジオに切り替わり、前回再生していたインターネットラジオ局を再生します。

1 再生の準備をする。

- ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる。
( 25 ページ)

2 INTERNET RADIO を押す。

3 Δ / ∇ を押して再生したい項目を選び、ENTER を押す。

***** (日本) :	あなたの国の一般的なインターネットラジオ局を表示します。
ラジオ局の検索 :	本機で受信できるすべてのインターネットラジオ局を表示します。
Podcasts の検索 :	本機で受信できるポッドキャスト内のインターネットラジオ局を表示します。
お奨めのラジオ局 :	おすすめインターネットラジオ局を表示します。
radiomarentz.com :	vTuner でお気に入りに登録しているインターネットラジオ局を表示します。vTuner でお気に入り登録のしかたは、「vTuner でインターネットラジオ局をお気に入り登録する」( 38 ページ)をご覧ください。
最近再生したラジオ局 :	最近再生したインターネットラジオ局を表示します。最大 20 局まで「最近再生したラジオ局」へ自動的に記憶します。
文字列による検索 :	キーワード検索したインターネットラジオ局を表示します。文字の入力方法については、「文字入力について」( 77 ページ)をご覧ください。

4 △▽を押して放送局を選び、ENTERを押す。

バッファリングが“100%”表示になると、再生がはじまります。

操作ボタン	機能
FAVORITES ADD	お気に入りリストへの登録
FAVORITES CALL	お気に入りリストからの呼び出し
△▽◀▶	カーソル操作
ENTER	確定
SETUP	メニュー
SRCH	キャラクターサーチ *
■	停止



ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.”(ピリオド)に置き換えて表示します。

ご注意

ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。

vTuner でインターネットラジオ局をお気に入り登録する

世界中にはたくさんのインターネットラジオ局があり、本機はそれらを受信できます。しかし、ラジオ局が多すぎるために聴きたい放送を探すのは大変です。そこで本機専用のインターネットラジオ局検索ウェブサイト vTuner を使用してください。お手持ちのパソコンを使用して、インターネットラジオ局の検索と登録ができます。本機では vTuner に登録したラジオ局を再生できます。

1 本機の MAC アドレスを確認する。

- MAC アドレスは、vTuner のアカウント作成の際に必要なになります。

2 お手持ちのパソコンから vTuner のサイト (<http://www.radiomarantz.com>) にアクセスする。

3 本機の MAC アドレスを入力し、“Go” をクリックする。

4 パソコンの E-mail アドレスと任意のパスワードを入力する。

5 お好みで検索条件(ジャンル/地域/言語など)を選ぶ。

- キーワードを入力し、聴きたい曲を探すこともできます。

6 表示されたリストからお好みのラジオ局を選び、お気に入り登録アイコンをクリックする。

7 お気に入りグループ名を入力し、“Go” をクリックする。

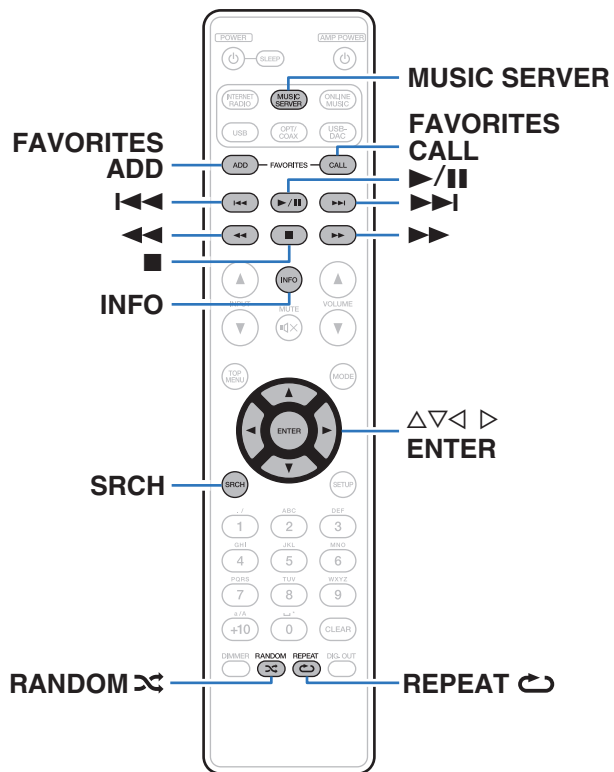
選択されたラジオ局が入ったお気に入りグループを新たに作成します。

- vTuner のお気に入りに登録したインターネットラジオ局は、本機の“radiomarantz.com” ([136 ページ](#)) から再生できます。

■ 再生できるファイルについて

「インターネットラジオ局の再生について」([101 ページ](#))をご覧ください。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する



- 本機では、パソコンやDLNA対応のネットワーク接続ストレージ(NAS)に保存されている音楽ファイルやプレイリスト(m3u、wpl)を再生できます。
- 本機のネットワークオーディオ再生機能では、次の技術を利用してサーバーに接続します。
 - Windows Media Player Network Sharing Service
- 本機で再生できるファイルは、次のとおりです。
 - WMA (Windows Media Audio)
 - MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)
 - WAV
 - MPEG-4 AAC
 - FLAC (Free Lossless Audio Codec)
 - ALAC (Apple Lossless Audio Codec)
 - AIFF
 - DSD (2チャンネル)

メディアの共有設定をおこなう

パソコンやNASに保存されている音楽ファイルをネットワーク上で共有するための設定をおこないます。
メディアサーバーを使用する場合は、事前に必ずこの設定をおこなってください。

■ Windows Media Player 12 (Windows 7、Windows 8)を使用する場合

ご注意

次の手順は、コントロールパネルの表示方法を“カテゴリ”にしてからおこなってください。

- 1 パソコンで Windows Media Player 12 を起動する。
- 2 “ストリーム” から “その他のストリーミング オプション...” を選ぶ。
- 3 “Marantz NA8005” のドロップダウンリストで “許可” を選ぶ。
- 4 “この PC とリモート接続のメディアプログラム...” のドロップダウンリストで “許可” を選ぶ。
- 5 画面に従い、設定を終了する。

■ Windows Media Player 11 を使用する場合

- 1 パソコンで Windows Media Player 11 を起動する。
- 2 “ライブラリ” から “メディアの共有” を選ぶ。
- 3 “メディアを共有する” をチェックして “Marantz NA8005” を選び、“許可” をクリックする。
- 4 手順3と同様に、メディアコントローラーとして使用したい機器(他のパソコンやモバイル端末)のアイコンを選び、“許可” をクリックする。
- 5 “OK” をクリックして終了する。

■ NAS に保存したメディアを共有する

本機およびメディアコントローラーとして使用したい機器(他のパソコンやモバイル端末)がNASにアクセスできるよう、NASの設定を変更してください。詳しくは、ご使用のNASに付属の取扱説明書をご覧ください。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

音楽ファイルおよびプレイリストを再生できます。

1 再生の準備をする。

- ① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる。
([☞ 32 ページ](#))
- ② 設定が必要な場合は、“ネットワーク” ([☞ 84 ページ](#))をおこなう。
- ③ パソコンの準備をする。(「メディアの共有設定をおこなう」([☞ 40 ページ](#))、「ミュージックサーバー機能について」([☞ 43 ページ](#)))。

2 MUSIC SERVER を押して、入力ソースを“Music Server”に切り替える。

3 △▽ を押して再生したいファイルのあるサーバーを選び、ENTER を押す。

4 △▽ を押して検索項目またはフォルダを選び、ENTER を押す。

5 ファイルが表示されるまで、手順 4 をくり返す。

6 △▽ を押してファイルを選び、ENTER を押す。 バッファリングが“100%”表示になると、再生がはじまります。



Windows Media Player(バージョン 11 以上)などのトランスコードに対応したサーバーをご使用になると、WMA Lossless ファイルを再生できます。

ご注意

- パソコンや NAS を無線 LAN で接続して音楽ファイルを再生する場合、お使いの無線 LAN の環境によって、音が途切れることがあります。この場合は、パソコンや NAS を有線 LAN で接続し再生してください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、曲の表示順がアルファベット順にならない場合は、頭文字での検索が正しく動作しないことがあります。


くり返し再生する (リピート再生)

1 REPEAT を押す。

リピート再生をはじめます。

- ボタンを押すたびに、リピートモードが切り替わります。


 (1 曲リピート): 1 曲のみをくり返して再生します。

 (全曲リピート): 再生中のフォルダ内の曲をくり返して再生します。

リピートオフ (表示消灯): 通常の再生に戻ります。

順不同に再生する (ランダム再生)

1 RANDOM を押す。



ディスプレイの  表示が点灯し、現在再生中のフォルダ内にあるすべての曲をランダムに再生します。

■ ランダム再生を解除する

RANDOM  を押す。

ディスプレイの  表示が消灯します。

■ ミュージックサーバー再生時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
FAVORITES ADD	お気に入りリストへの登録
FAVORITES CALL	お気に入りリストからの呼び出し
△ ▽ ◀ ▶	カーソル操作
ENTER	確定
SRCH	キャラクターサーチ *1
⏮ ⏭	スキップサーチ(頭出し)
⏪ ⏩	マニュアルサーチ(早戻し/早送り)
▶/	再生/一時停止
■	停止
REPEAT 	リピート再生(※42 ページ)
RANDOM 	ランダム再生(※42 ページ)*2

*1 SRCH を押したあとに検索したいファイルの頭文字を選び、そのあとに ENTER を押します。

*2 パソコンに保存しているファイルをランダム再生すると、曲の再生が終わるたびにフォルダ内の曲からランダムに再生する曲を選びます。



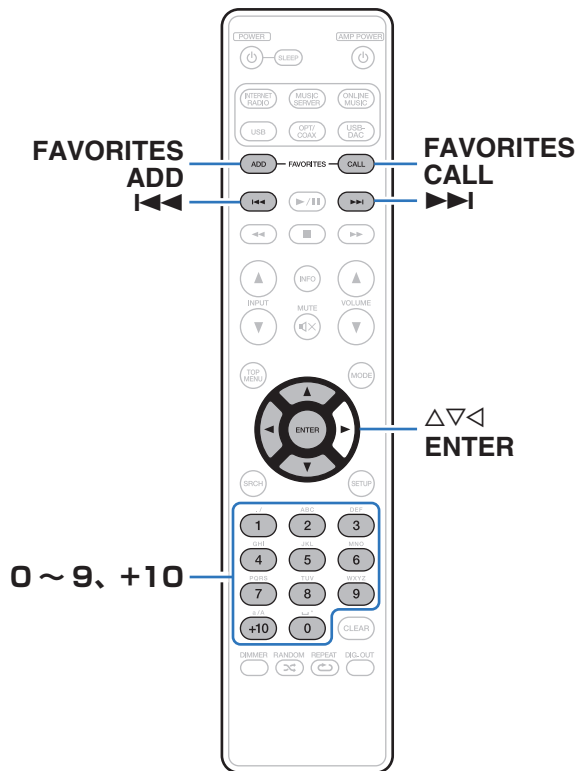
- リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。
- 使用するサーバーによっては、一部の機能が制限される場合があります。

■ ディスプレイ表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- 再生曲のアーティスト名、アルバム名とファイルの種類/ビットレートを切り替えて表示します。

お気に入り機能



ここではお気に入り機能について説明します。

- お気に入り機能とは、好きな放送局やファイルをあらかじめお気に入りリストに登録することにより、いつでもすぐに好きな放送局やファイルを呼び出して聴くことができる機能です。
- 登録や呼び出しが可能なコンテンツは、インターネットラジオとミュージックサーバーです。
- お気に入りリストには最大 50 個の放送局やファイルを登録できます。

放送局またはファイルをお気に入りリストに登録する

- 1 登録したい放送局やファイルの再生中に FAVORITES ADD を押す。
お気に入りリストを表示します。
- 2 $\Delta\nabla$ を押して再生中の放送局またはファイルに登録する番号を選び、ENTER を押す。
“お気に入りに追加” を表示し、登録を完了します。

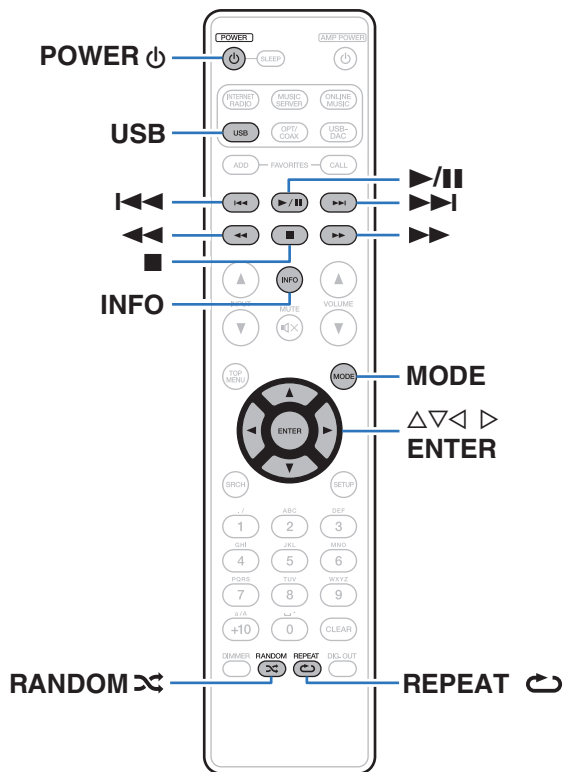
お気に入りリストに登録した放送局またはファイルを呼び出す

- 1 FAVORITES CALL を押す。
お気に入りリストを表示します。
 - 2 \lll 、 \ggg または $\Delta\nabla$ を押して呼び出したい放送局またはファイルを選び、ENTER を押す。
各ソースに移行して、再生をはじめます。
 - 0~9、+10 を押すと、お気に入りに登録した放送局やファイルを番号で呼び出せます。
- お気に入りリストに登録した放送局やファイルを再生中、登録した放送局またはファイルを切り替える
- \lll 、 \ggg または $\Delta\nabla$ を押す。

お気に入りリストから放送局またはファイルを削除する

- 1 **FAVORITES CALL** を押す。
お気に入りリストを表示します。
 - 2 **△▽** を押して削除したい放送局またはファイルを選び、**CLEAR** を押す。
“削除しますか？”が表示されたら **ENTER** を押す。
 - 3 “削除しました。”と表示され、削除を完了します。
- **操作を中止する**
◀を押す。

iPodの再生



- iPod に付属している USB ケーブルを使用して iPod を本機の USB 端子に接続すると、iPod の音楽を楽しむことができます。
- 本機で再生できる iPod は、「対応している iPod/iPhone」(P.24 ページ)をご覧ください。

iPod を再生する

- 1 USB を押して、入力ソースを“USB”に切り替える。
- 2 iPod を USB 端子に接続する。(P.23 ページ)
- 3 iPod の画面を見ながら直接 iPod 本体を操作して、音楽を再生する。

4 MODE を押して表示モードを選ぶ。

MODE を押すたびに、表示モードを切り替えます。

- iPod のデータを表示するモードは 2 つあります。

リモートモード: iPod の情報を本機のディスプレイに表示させて操作するモードです。

ダイレクトモード (お買い上げ時の設定): iPod に表示される画面を見ながら、直接 iPod 本体を操作するモードです。

表示モード		リモートモード	ダイレクトモード
表示する場所		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音楽ファイル	✓	✓
	映像ファイル		✓ *
操作できるボタン	本機のリモコン	✓	✓
	iPod		✓

* 音声のみ再生します。

5 Δ▽ を押して項目を選び、ENTER を押して再生したいファイルを選ぶ。

6 ▶/|| を押す。

再生をはじめます。

ご注意

- 万一 iPod のデータを消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。


くり返し再生する (リピート再生)

1 REPEAT を押す。

リピート再生をはじめます。

- ボタンを押すたびに、リピートモードが切り替わります。


 (1 曲リピート): 1 曲のみをくり返して再生します。

 (全曲リピート): 再生中のフォルダ内の曲をくり返して再生します。

リピートオフ (表示消灯): 通常の再生に戻ります。

順不同に再生する (ランダム再生)

1 RANDOM を押す。

ディスプレイの  表示が点灯し、現在再生中のフォルダ内にあるすべての曲をランダムに再生します。

■ ランダム再生を解除する

RANDOM  を押す。

ディスプレイの  表示が消灯します。

■ iPod 再生時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
MODE	リモートモードとダイレクトモードの切り替え
△ ▽	カーソル操作(上/下)
◀	メニューの呼び出し/メニューのリターン
ENTER または ▶	設定の確定/再生
⏮、⏭	スキップサーチ(頭出し)
◀、▶	マニュアルサーチ(早戻し/早送り)
▶/⏸	再生/一時停止
■	停止
REPEAT 🔄	リピート再生(🔍 49 ページ)
RANDOM 🎲	シャッフル再生(🔍 49 ページ)

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- 曲名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。

iPod を取り外す

- 1 POWER ⏻ を押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。
- 2 USB 端子から iPod を取り出す。

iPod の充電

USB 端子に接続すると、iPod や iPhone の充電ができます。

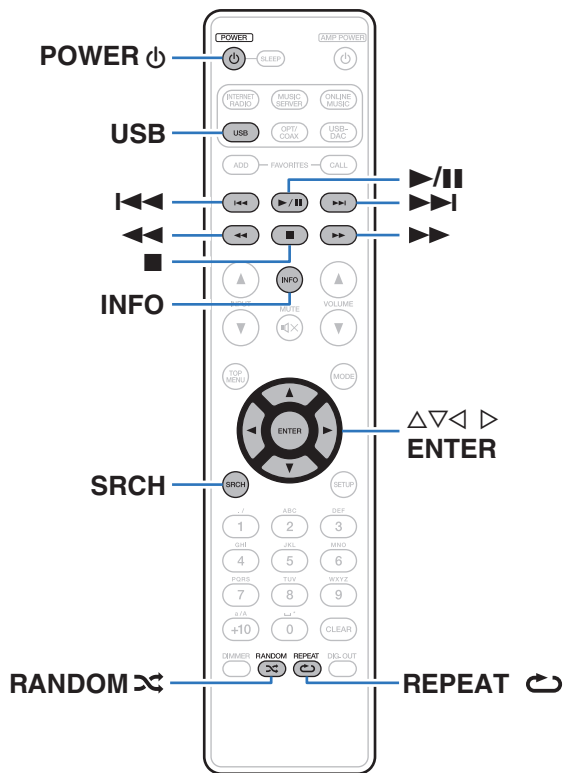
■ スタンバイ充電

iPod や iPhone を充電中に本機がスタンバイモードに入った場合、スタンバイ充電モードに切り替えて、iPod/iPhone を充電します。スタンバイ充電モードでは、電源表示がオレンジ色に点灯します。

iPod や iPhone が完全に充電されると、電源表示が赤色に変わり、通常のスタンバイモードに移行します。

- “ネットワーク制御” の設定が“オン” のときは、充電完了後も電源表示はオレンジ色に点灯します。

USBメモリーを再生する



- USBメモリーに保存された音楽ファイルを再生します。
- 本機は、マスタストレージクラスおよびMTP(Media Transfer Protocol)に対応しているUSBメモリーのみ再生できます。
- USBメモリーは、FAT16またはFAT32フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できるファイルは、次のとおりです。
 - WMA (Windows Media Audio)
 - MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)
 - WAV
 - AAC (Advanced Audio Codec)
 - FLAC (Free Lossless Audio Codec)
 - ALAC (Apple Lossless Audio Codec)
 - AIFF
 - DSD

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

- 1 USB を押して、入力ソースを“USB”に切り替える。
- 2 Δ / ∇ を押して再生したいファイルまたはフォルダを選び、ENTER を押す。
- 3 Δ / ∇ を押してファイルを選び、ENTER を押す。
再生をはじめます。




- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ選べます。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものをお使いになる場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。


ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機のフロントパネルの USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリー再生中に別のファイルを再生する場合、 \leftarrow を押して階層表示をおこない、 Δ / ∇ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押します。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。
- USB メモリーを接続すると本機は USB メモリーに記録されているファイルを読み込みます。読み込み時間は USB メモリーに記録されている容量の大きさによります。再生可能な最大ファイル数および最大フォルダ数が記録された場合は、ファイルの読み取りに数分間かかります。
- 本機に USB メモリーを接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

くり返し再生する (リピート再生)



- 1 REPEAT  を押す。
リピート再生をはじめます。
 - ボタンを押すたびに、リピートモードが切り替わります。

 (1 曲リピート): 1 曲のみをくり返して再生します。



 (全曲リピート): 再生中のフォルダ内の曲をくり返して再生します。

リピートオフ (表示消灯): 通常の再生に戻ります。


順不同に再生する (ランダム再生)

- 1 RANDOM  を押す。
ディスプレイの  表示が点灯し、現在再生中のフォルダ内にあるすべての曲をランダムに再生します。

■ ランダム再生を解除する

RANDOM  を押す。
ディスプレイの  表示が消灯します。


USB メモリーを取り外す

- 1 POWER  を押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。
- 2 USB メモリーの通信表示が点滅していないことを確認してから、USB メモリーを抜く。

ご注意

USB メモリーの通信表示が点滅しているときは、USB メモリーを本機から抜かないでください。USB メモリーおよび USB メモリーの記録ファイルが破損することがあります。

■ USB メモリー再生時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
△ ▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定 / 再生
◀	1 つ上の階層に移動
SRCH	キャラクターサーチ *1
⏮ ⏭	スキップサーチ (頭出し)
◀▶	マニュアルサーチ(早戻し/早送り)
▶⏮	再生/一時停止
■	停止
REPEAT 	リピート再生( 53 ページ)
RANDOM 	ランダム再生( 53 ページ)*2

- *1 SRCH を押したあとに検索したいファイルの頭文字を選び、そのあとに ENTER を押す。
- *2 USB メモリーに保存しているファイルをランダム再生すると、曲の再生が終わるたびにフォルダー内の曲からランダムに再生する曲を選びます。



リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

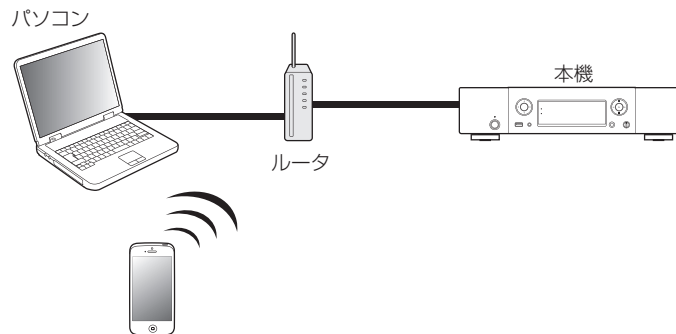
- 曲名、アーティスト名、アルバム名およびファイルの種類/ビットレートを切り替えて表示します。

AirPlay 機能

iPhone、iPod touch、iPad や iTunes に保存されている音楽ファイルを、ネットワークを経由して本機で再生できます。



- AirPlay の再生を開始すると、本機の入力ソースは自動的に “AirPlay” に切り替わります。
- 本機の ◀ を押すか他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- INFO を押すと、アルバム名とアーティスト名を確認できます。
- iTunes の使用方法は、iTunes の “ヘルプ” をご覧ください。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。
- AirPlay 再生中に、USB 端子に AirPlay をおこなっている iPod を接続すると、AirPlay 再生は停止します。



iPhone、iPod touch の音楽ファイルを 本機で再生する

iPhone、iPod touch、iPad を iOS 4.2.1 以上にアップデートすると、iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

1 iPhone、iPod touch または iPad の Wi-Fi 設定を本機と同じネットワークに接続する。

- 詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源を入れる。

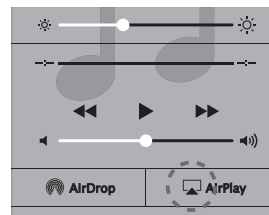
本機の“ネットワーク制御”の設定を“オン”にしてください。(P.83 ページ)

ご注意

“ネットワーク制御”を“オン”に設定すると、スタンバイ時の待機電力は“オフ”に設定しているときより多く消費します。

3 iPhone、iPod touch、iPad の曲を再生する。 iPhone、iPod touch または iPad の画面に を表示します。

4 AirPlay アイコン をタップする。



5 再生したいスピーカー(機器)をクリックする。

iTunes の音楽を本機で再生する


1 本機と同じネットワークに接続しているパソコンに、iTunes 10 以降をインストールする。

2 本機の電源を入れる。

本機の“ネットワーク制御”の設定を“オン”にしてください。(P.83 ページ)

ご注意

“ネットワーク制御”を“オン”に設定すると、スタンバイ時の待機電力は“オフ”に設定しているときより多く消費します。

3 iTunes を起動し、AirPlay アイコンをクリックして、本機を選ぶ。




4 iTunes で曲を選び、再生する。

本機で再生をはじめます。

複数のスピーカー(機器)を選ぶ

ご家庭にある本機以外の AirPlay 対応のスピーカー(機器)で iTunes の曲を再生できます。

1 AirPlay アイコンをクリックして、“複数の”を選ぶ。

2 再生したいスピーカー(機器)をクリックする。

ご注意

AirPlay 機能を使用して再生する場合は、iPhone、iPod touch、iPad または iTunes で設定している音量で出力します。

再生する前に、iPhone、iPod touch、iPad または iTunes の音量を最小にしてから適切な音量に調節してください。

Remote play機能

本機は DLNA (Digital Living Network Alliance) Ver. 1.5 規格に準拠しています。ご家庭のネットワークを使用してパソコンや NAS、スマートフォン、ポータブルオーディオプレーヤに保存している音楽ファイルを DLNA の機能を使って本機で再生できます。

このとき、操作はパソコン、スマートフォンまたはポータブルオーディオプレーヤで操作します。



- それぞれの機器が DLNA の Ver. 1.5 規格に準拠している必要があります。
- スマートフォンやポータブルオーディオの再生にはワイヤレス LAN の環境が必要です。
- スマートフォンによっては、DLNA の音楽再生のためのアプリをインストールする必要がある場合があります。

■ それぞれの機器の役割

Remote play 再生には次の機器を使用します。DLNA 規格上、それぞれの役割によって DMC、DMS、DMR と呼びます。

呼称	機器例	役割
DMC (Digital Media Controller)	• パソコン • スマートフォン • ポータブルオーディオプレーヤ	Remote play 再生の操作をします。 これらの機器に保存している音楽ファイルを再生することもできます。
DMS (Digital Media Server)	• パソコン • NAS (Network Attached Storage)	音楽ファイルの保存をします。 DMC でこれらの機器に保存している音楽ファイルを再生操作します。
DMR (Digital Media Renderer)	• 本機	Remote play で再生した音楽ファイルをスピーカーから出力します。再生操作はできません。

■ 再生できるファイルについて

「パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する」
([102 ページ](#))をご覧ください。

それぞれの機器に必要な設定

Remote play 再生をおこなうために、DMC と DMS の設定が必要です。次の設定をおこなってください。なお、設定については各機器の取扱説明書をご覧ください。

■ パソコンやNASの設定

パソコンやNASがDMS機器やDMR機器とデータのやり取りができるように設定をします。

設定の方法は、「メディアの共有設定をおこなう」([図 40 ページ](#))をご覧ください。

■ スマートフォンの設定

スマートフォンからDMSや本機(DMR)を操作するために、スマートフォンにDLNAの音楽再生のためのアプリをインストールする必要があります。これらの適応アプリはスマートフォンによって異なります。



一部のスマートフォンでは初めからDLNA音楽再生に対応している機種もあります。スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

■ ポータブルオーディオプレーヤの設定

ポータブルオーディオプレーヤの音楽ファイルを本機(DMR)で再生するための設定をおこなってください。設定のしかたは、各ポータブルオーディオプレーヤの取扱説明書をご覧ください。

■ 本機の設定

DLNA ネットワークに接続してください。それ以外の設定の必要はありません。

ネットワークの接続については、別冊の「かんたんスタートガイド」、「ホームネットワーク(LAN)に接続する」([図 25 ページ](#))または「ネットワーク」([図 83 ページ](#))をご覧ください。

■ Remote play の操作

操作のしかたは、それぞれの機器によって異なりますが、Remote play のための準備の手順は同じです。ここでは準備する手順を説明します。

1 本機の電源をオンにする。

- 本機がネットワークに接続できることを確認してください。

2 DMC の音楽ファイル再生画面を表示する。

- パソコンの場合は、Windows Media Player 12 などを開く。
- スマートフォンの場合は音楽ファイル再生モードに切り替える。

3 再生画面の再生機器を設定する項目で、本機のフレンドリ名を選ぶ。

- 本機のお買い上げ時のフレンドリ名は “Marantz NA8005” です。

4 DMC で音楽ファイルの再生をはじめめる。

- 本機のファンクションが自動的にミュージックサーバーに切り替わり、ディスプレイに Remote Play マークを表示して Remote play をはじめます。

■ Remote play を終了するには

1 ◀ を押す。

- Remote Play モードを解除します。

ご注意

Remote play 中に本機で再生操作はできません。DMC 機器で操作してください。

ウェブコントロール機能

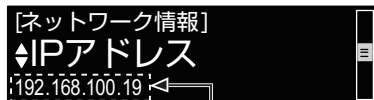
ブラウザに表示されるウェブコントロール画面を使用して、本機を操作できます。



- ウェブコントロール機能をご使用になるには、本機とパソコンがネットワークに正しく接続されている必要があります。(P25 ページ)
- セキュリティソフトなどの設定により、パソコンから本機にアクセスできないことがあります。そのような場合には、セキュリティソフトの設定を変更してください。

1 メニューの“ネットワーク制御”を“オン”にする。
(P83 ページ)

2 メニューの“ネットワーク情報”で、本機の IP アドレスを確認する。



IP アドレスを確認

3 ブラウザを起動する。

4 ブラウザのアドレスに、本機の IP アドレスを入力する。

例えば、本機の IP アドレスが“192.168.100.19”の場合は、“http://192.168.100.19/”と入力してください。

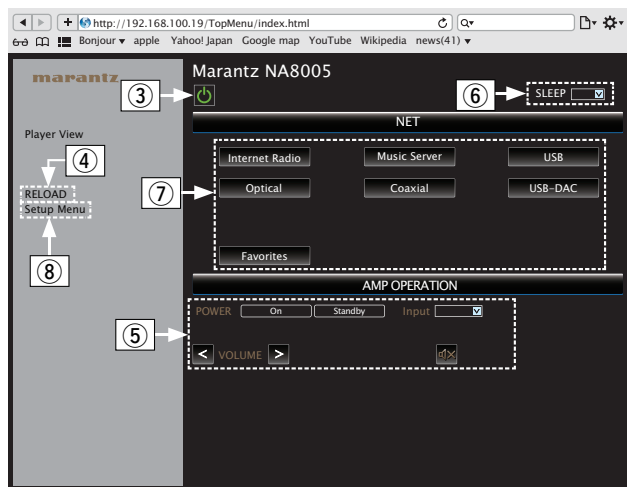


① IP アドレスを入力します。

- ブラウザのブックマーク機能で本機の IP アドレスを登録しておく、次回からブックマーク機能を使用してウェブコントロール画面を表示できます。ただし、DHCP サーバーをご使用の場合は、“ネットワーク制御”の設定(P83 ページ)が“オフ”のときに電源をオン/オフすると、IP アドレスが変更になりますのでご注意ください。

② Safari ブラウザを使用する場合は、“Bonjour”を選択するとウェブコントロール画面に直接アクセスできます。

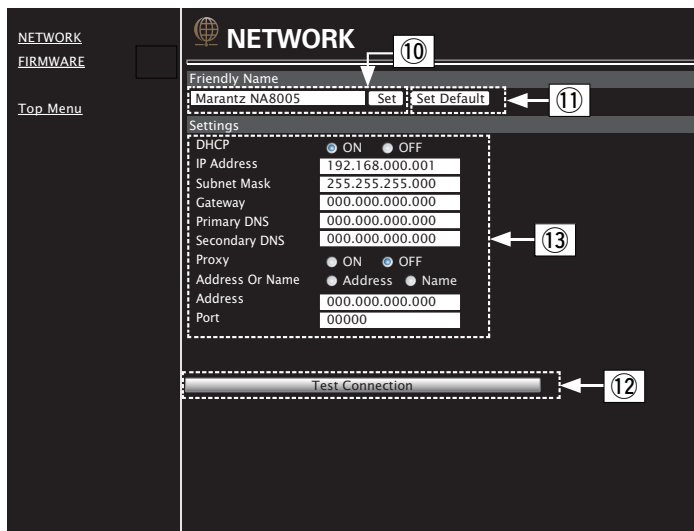
5 トップメニューが表示されたら、操作したいメニューをクリックする。



- ③ 本機の電源操作時にクリックします。
- ④ 最新の情報に更新するときをクリックします。通常は操作するたびに、最新の情報に切り替わります。本体側で操作された場合は、画面は更新されませんので、クリックしてください。
- ⑤ リモートコントロール接続ケーブルで接続しているマランツ製アンプの操作ができます。(P.29 ページ)
- ⑥ “v” をクリックし、スリープタイマー機能を設定します。
- ⑦ ボタンをクリックすると、入力ソースが切り替わります。
- ⑧ セットアップメニューを操作するときをクリックします。

6 操作する。

【ネットワーク設定】



Friendly Name(フレンドリ名)の設定

- ⑩ フレンドリ名を変更するとき、テキストボックスに新しいフレンドリ名を入力し、“Set”を押す。
- ⑪ フレンドリ名をリセットするとき、“Set Default”を押す。

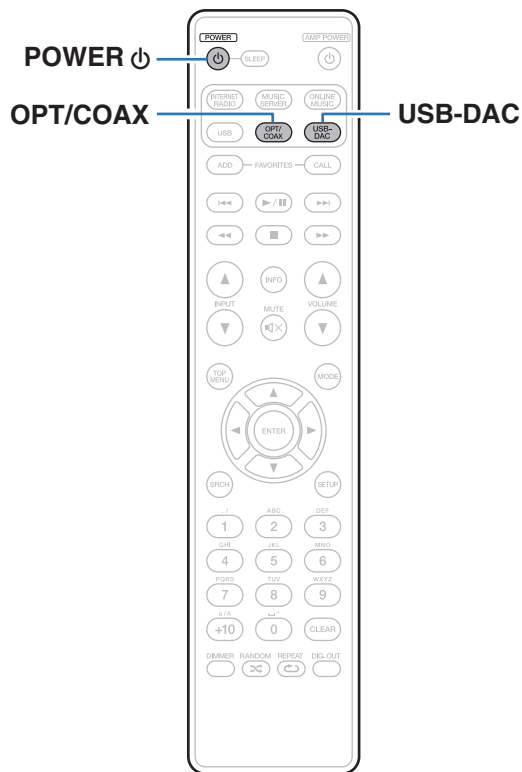
ネットワーク接続設定

- ⑫ 新しい設定を反映させるときに押す。
- ⑬ DHCP/Proxy の設定を変更するとき、各項目を入力または選択する。

ご注意

- 選択項目や接続状態により表示される項目が変わります。
- 各項目を選択したあとは、表示が更新されるまでしばらくお待ちください。
- ネットワーク接続の設定を反映させるためには、最後に“Test Connection”を押してください。

D/A コンバーター機能で再生する (USB-DAC)



外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を、本機でアナログ変換して出力できます。(D/A コンバーター機能)

- DSD は、登録商標です。
- Microsoft、Windows Vista、Windows 7 と Windows 8 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

パソコンと接続して再生する (USB-DAC)

パソコンに保存している音楽ファイルを USB 接続で本機に入力すると、本機に搭載している D/A コンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- Mac OS をご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

■ パソコン(推奨システム)

OS

- Windows® Vista、Windows 7 および Windows 8
- Mac OS X 10.6.3 以降

USB

- USB 2.0: USB High speed/USB Audio Class Ver. 2.0

Windows OS

専用ドライバーソフトのインストール
([P.65](#) ページ)

Mac OS

オーディオ装置の確認([P.71](#) ページ)

■ 専用ドライバーソフトのインストール (Windows OS のみ)

□ パソコンヘドライバーソフトをインストールする方法

1 本機とパソコンの USB 接続を外す。

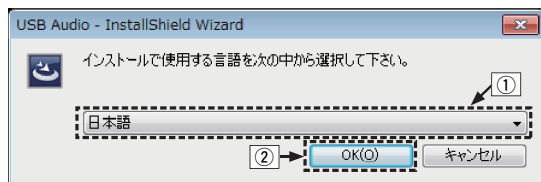
- 本機とパソコンを USB 接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
- パソコンにドライバーソフトをインストールする前に、本機と USB 接続してパソコンを立ち上げた場合、USB 接続を外して、パソコンを再起動してください。

2 ご使用のパソコンに、当社ウェブサイト NA8005 のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。

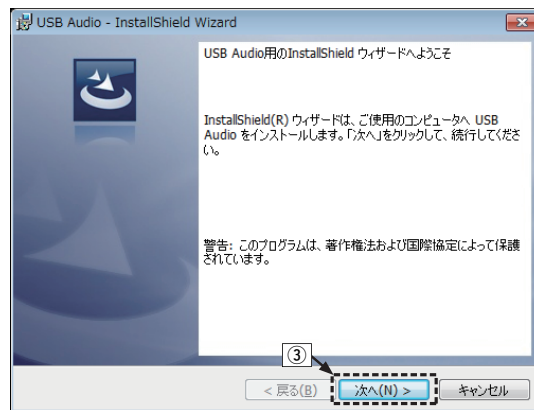
3 ダウンロードファイルを解凍し、ご使用のパソコンの Windows OS に合わせて 32bit 版または 64bit 版の exe ファイルを選び、ダブルクリックする。

4 ドライバソフトをインストールする。

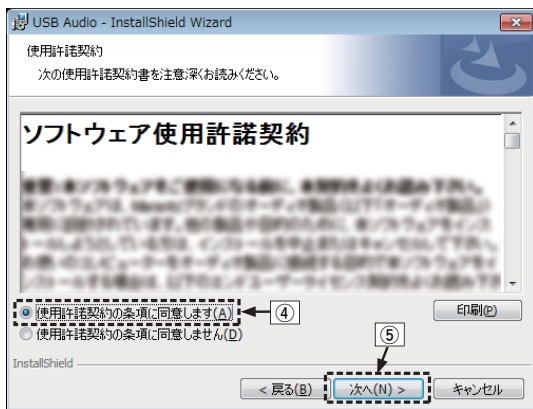
- ① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
- ② “OK(O)” をクリックする。



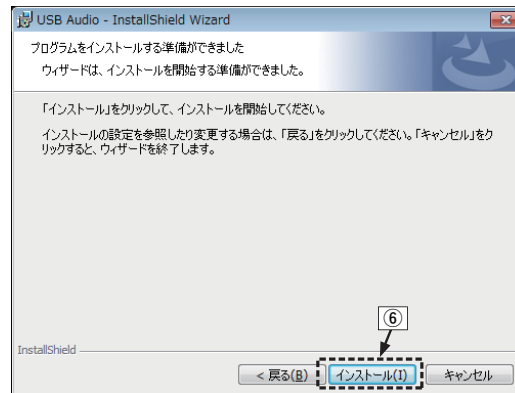
- ③ ウィザードメニューが表示されたら“次へ(N)” をクリックする。



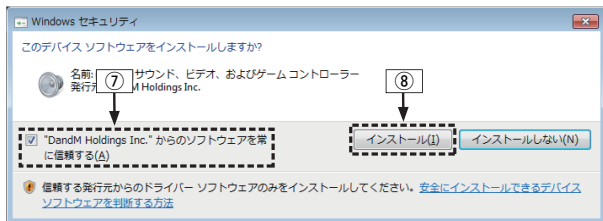
- ④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“使用許諾契約の条項に同意します(A)”を選ぶ。
- ⑤ “次へ(N)”をクリックする。



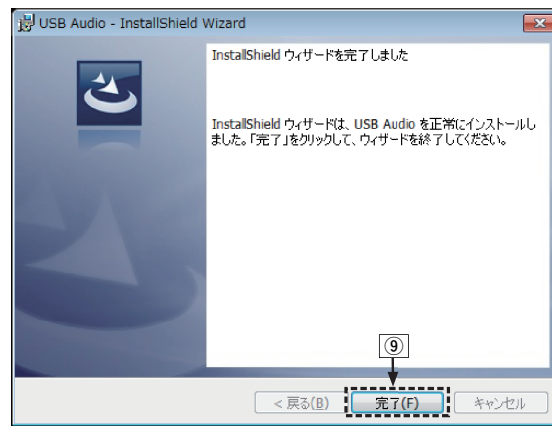
- ⑥ インストール開始ダイアログの“インストール(I)”をクリックする。
 - インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



- ⑦ Windows セキュリティダイアログの “DandM Holdings Inc.”からのソフトウェアを常に信頼する(A) を選ぶ。
- ⑧ “インストール(I)” をクリックする。



- ⑨ インストール終了画面を表示したら “完了(F)” をクリックする。



5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンを USB ケーブル(別売り)で接続する。

- 接続のしかたは「パソコンと接続する」(P.22 ページ)をご覧ください。

6 POWER ❷ を押す。

- 本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。

7 USB-DAC を押して、入力ソースを“USB-DAC”にする。

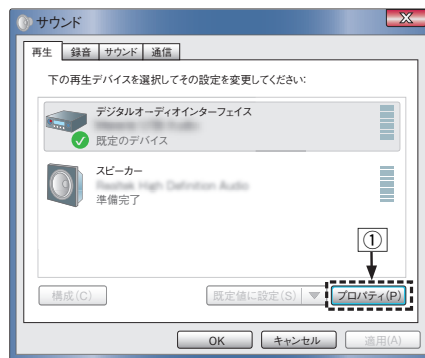
8 インストールしたドライバーを確認する。

- ① パソコン画面の“スタート”をクリックして、“コントロールパネル”をクリックする。
 - コントロールパネルの設定一覧を表示します。
- ② “サウンド”をクリックする。
 - サウンドメニュー画面を表示します。
- ③ “再生”タブの“デジタルオーディオインターフェース”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“Marantz USB Audio”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

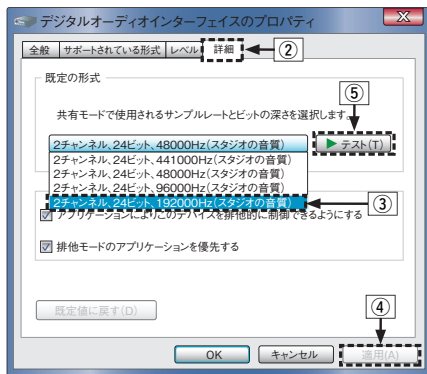
9 音声出力を確認する。

パソコンからテスト信号を出力して USB-DAC 機能の音声出力を確認します。

- ① サウンドメニュー画面の“デジタルオーディオインターフェース”を選び、“プロパティ”をクリックする。
 - デジタルオーディオインターフェースのプロパティ画面を表示します。



- ② “詳細” タブをクリックする。
- ③ D/A 変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。
 - “2チャンネル、24ビット、192000Hz(スタジオの音質)” に設定することをおすすめします。
- ④ “適用(A)” をクリックする。
- ⑤ “テスト(T)” をクリックする。
 - 本機からパソコンの音声が出力されることを確認します。

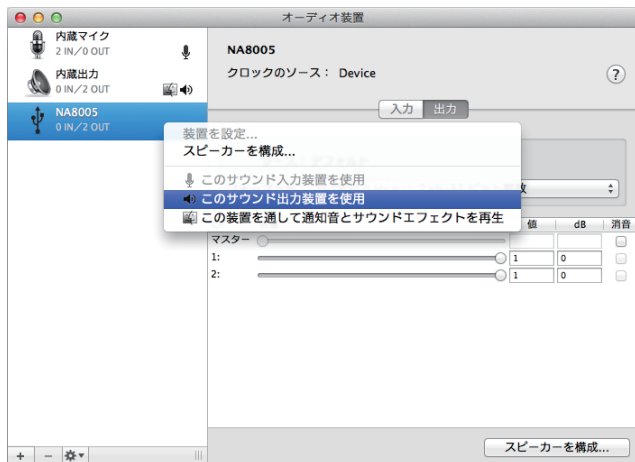


ご注意

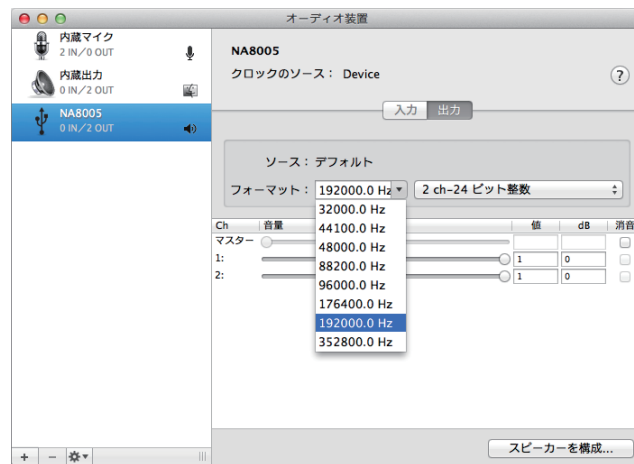
- 専用ドライバーはパソコンと本機を USB 接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。

■ オーディオ装置の確認 (Mac OS X のみ)

- ① パソコン画面の“移動”にカーソルを合わせ、“ユーティリティ”をクリックする。
 - ユーティリティの一覧を表示します。
- ② “Audio MIDI 設定”をダブルクリックする。
 - “オーディオ装置”画面を表示します。
- ③ “NA8005”に、このサウンド出力装置を使用のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“NA8005”を選択してから副ボタンクリックして、“このサウンド出力装置を使用”を選択してください。



- ④ “NA8005”のフォーマットを選択する。
 - “192000.0Hz”、“2ch-24ビット整数”に設定することをおすすめします。



- ⑤ AudioMIDI 設定を終了する。

■ 再生のしかた

あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)にパソコンを接続してください。(P.22 ページ)

1 USB-DAC を押して、入カソースを “USB-DAC” に切り替える。

パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめます。

入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

“USB-DAC: “USB-DAC:
PCM xxxx kHz” DSD xxxx MHz”

(xxxx にはサンプリング周波数を表示します。)

- ・サンプリング周波数を検出できない場合は、“入力無し” を表示します。
- ・本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です” を表示します。

■ 再生できるファイルについて

「D/A コンバーターについて」(P.100 ページ)をご覧ください。

ご注意

- 再生、停止などはパソコンで操作してください。本体のボタンおよびリモコンでは操作できません。
- パソコンでは、音量およびイコライザーの調節もできます。お好みの音量でお楽しみください。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンの再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続を外すと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続を外してください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB ケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が異なることがあります。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

デジタル機器と接続して再生する (Coaxial/Optical)

1 OPT/COAX を押して、入力ソースを “Coaxial” または “Optical” にする。

入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

“Coaxial
PCM xxxx kHz” または “Optical
PCM xxxx kHz”

(xxxx はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“入力無し” を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です” を表示します。

■ 再生できるフォーマットについて

「D/A コンバーターについて」(P.100 ページ)をご覧ください。

ご注意



- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- CS 放送の A モードから B モードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1~2 秒程度消音になり、音が途切れることがあります。

設定のしかた

メニュー 一覧

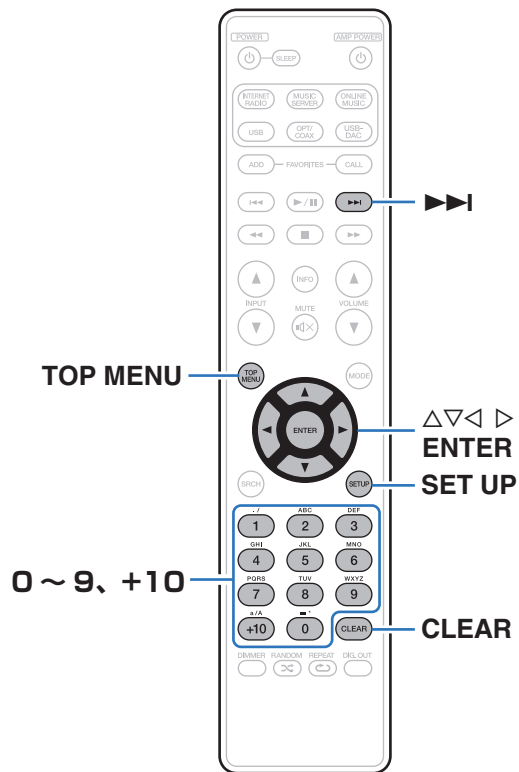
メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。

本機はお買い上げ時の設定をおすすめの設定にしております。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

設定項目	詳細項目	説明	参照ページ	
	-	ネットワークの各種設定をウィザード形式で表示します。操作のしかたについては、別冊の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。	-	
	一般	オーディオ出力	アナログ音声出力の音量を固定にするか、可変にするかを設定します。	79
	音量の上限	アナログ音声出力を可変にした場合の音量の上限を設定します。	79	
	言語	ディスプレイに表示する言語を選択します。	80	
	オートスタンバイ	未使用時、本機の電源をスタンバイにします。	80	
	ファームウェア	ファームウェアの最新アップデート情報の確認や更新の実施、およびアップデートとアップグレードの通知メッセージを表示するかしないかの設定をします。	81	
		アップデート	ファームウェアをアップデートします。	81
		お知らせ機能	アップデート、アップグレードの通知メッセージやその他のお知らせを表示するかしないかの設定をします。	81
	新機能の追加	ダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードします。	82	

設定項目	詳細項目	説明	参照ページ
	ネットワーク情報	ネットワークの各種情報を表示します。	-
	ネットワーク制御	スタンバイ時のネットワーク機能のオン/オフを設定します。	83
	フレンドリ名	ネットワーク上に表示される名前を編集します。	83
	詳細な設定	有線 LAN 接続の設定をします。	84
	DHCP (On) または DHCP (Off)	DHCP の設定をします。	84
	IP アドレス *	IP アドレスの設定をします。	84
	サブネットマスク *	サブネットマスクを入力します。	84
	ゲートウェイ *	ゲートウェイの設定をします。	84
	プライマリ DNS *	プライマリ DNS を入力します。	84
	セカンダリ DNS *	セカンダリ DNS を入力します。	84
プロキシ	プロキシの設定をします。	85	
接続を開始	ネットワークへの接続を確認します。	85	

* “DHCP” の設定が “オフ” の時に表示します。



■ メニューの操作のしかた

- 1 停止中に **SETUP** を押す。
ディスプレイにメニューを表示します。
- 2 **△▽** を押して設定または操作したいメニューを選び、**ENTER** を押す。
- 3 **△▽** を押して、お好みの設定に変更する。
- 4 **ENTER** を押して、設定を確定する。
 - 前の項目に戻るときは、**<** を押してください。
 - メニューを終了するとき、メニュー表示中に **SETUP** を押してください。通常表示に戻ります。
 - トップメニューに戻るときは、メニュー表示中に **TOP MENU** を押してください。

文字入力について

本機では、フレンドリ名をお好みに合わせて変更できます。また、文字を入力してインターネットラジオ局や音楽ファイルの検索ができます。

文字の入力には、次の2とおりの方法があります。

入力方式	操作の概要
数字ボタンで入力する	<ul style="list-style-type: none">リモコンで操作します。1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が切り替わります。
カーソルボタンで入力する	<ul style="list-style-type: none">リモコンまたは本体で操作します。△▽◀▶またはENTERを押して文字を入力します。

■ 入力画面の表示

【フレンドリ名入力】



* 入力する文字タイプが表示されます。
(+10 で文字タイプを切り替えます。)

a: 英小文字

A: 英大文字

1: 数字

■ 数字ボタンで入力する

- 1 文字の入力をおこなう画面を表示する。
- 2 <▷> を押して変更したい文字にカーソルを合わせる。
- 3 +10 を押して文字タイプ(大文字、小文字、数字)を選び、0~9 を押して入力したい文字を選ぶ。
 - 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

1 . /	1 . @ - _ / : ~	6 MNO	m n o M N O 6
2 ABC	a b c A B C 2	7 PQRS	p q r s P Q R S 7
3 DEF	d e f D E F 3	8 TUV	t u v T U V 8
4 GHI	g h i G H I 4	9 WXYZ	w x y z W X Y Z 9
5 JKL	j k l J K L 5	0 _	0 (スペース) ! " # \$ % & ' () * + , ; < = > ? [\] ^ _ { } ~

- 4 手順2、3をくり返して名前を変更し、ENTER を押して入力した文字を確定する。

■ カーソルボタンで入力する

- 1 文字の入力をおこなう画面を表示する。
- 2 <▷> を押して、変更したい文字にカーソルを合わせる。
- 3 △▽ を押して、文字を変更する。
 - 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

【英小文字】
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
【英大文字】
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
【記号】
! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ { } ~
【数字】
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (空白)

- 文字を削除する場合は CLEAR を押してください。
 - スペースを入れる場合は ▶▶ を押してください。
- 4 手順2、3をくり返して名前を変更し、ENTER を押して入力した文字を確定する。

一般

その他の設定をします。

オーディオ出力

アナログ音声出力の音量を“固定出力”にするか、“可変出力”にするかを設定します。

固定出力 アナログ音声出力の音量を固定(0dB)に設定し(お買い上げ時の設定)：ます。

可変出力： リモコンの VOLUME ▲▼ ボタンを押してアナログ音声出力の音量調節ができます。



- アナログ音声出力の音量を調節するには、リモコンの設定をおこなってください。(P.86 ページ)
- アナログ音声出力の音量を調節すると、ヘッドホンの音量も変化します。ヘッドホンをご使用になるときは、ヘッドホン音量調節つまみ (LEVEL) とあわせて適切に調節してください。
- “可変出力”を選択した場合、--dB(最小)、-99dB~0dB の範囲で音量調節ができます(お買い上げ時の設定：-40dB)。

ご注意

- アナログ音声出力の設定を“可変出力”から“固定出力”に変更すると、音量は最大(0dB)になりますのでご注意ください。
- 設定変更時は、アナログ音声出力端子(AUDIO OUT)に接続しているアンプの音量や本機のヘッドホン音量を最小にしてください。

音量の上限

アナログ音声出力を可変にした場合の音量の上限を設定します。

0dB： アナログ音声出力の音量の上限を 0dB に設定します。

-10dB
(お買い上げ時の設定)： アナログ音声出力の音量の上限を-10dB に設定します。

-20dB： アナログ音声出力の音量の上限を-20dB に設定します。



メニューの“オーディオ出力”の設定が“可変出力”のときに設定できます。

言語

ディスプレイに表示する言語を選択します。

日本語 / English(お買い上げ時の設定:日本語)

オートスタンバイ

何も操作せずに停止した状態や入力信号がない状態が約 15 分続いた場合に、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。

オン: 約 15 分後に本機をスタンバイ状態にします。

オフ(お買い上げ時の設定): 自動的に本機をスタンバイ状態にしません。



- 入力ソースが“iPod” (ダイレクトモード)のときはオートスタンバイ機能ははたらきません。
- 本機で iPod の充電中に本機の電源をスタンバイにしても、iPod の充電を続けます。

ファームウェア

■ アップデート

- ファームウェアをアップデートするには、インターネットに接続できる環境と設定が必要です。(P.26 ページ)
- ファームウェアアップデートの操作は、本機の電源をオンにして2分以上経過してからおこなってください。

アップデートの確認:	ファームウェアが最新かどうかの確認ができます。
アップデート開始:	アップデートを実行します。アップデートを開始すると、メニュー画面はシャットダウンします。アップデート中は、ディスプレイに進行状況を表示します。



アップデートに失敗しても、本機は自動的にアップデートを再試行します。

■ お知らせ機能

最新のファームウェアが利用可能であるときや、その他のお知らせがある場合、電源をオンにしたときに本機のメニュー画面に表示します。

この機能をご使用になるときは、インターネットブロードバンドに接続してください。(P.25 ページ)

アップデート

オン(お買い上げ時の設定):	アップデートの通知を表示します。
オフ:	アップデートの通知を表示しません。

アップグレード

オン(お買い上げ時の設定):	アップグレードの通知を表示します。
オフ:	アップグレードの通知を表示しません。

その他のお知らせ

オン(お買い上げ時の設定):	当社からのお知らせを表示します。
オフ:	当社からのお知らせを表示しません。

■ 新機能の追加

新機能を追加するためには、インターネットに接続できる環境と設定が必要です。(☞26 ページ)

新機能の追加の操作は本機の電源をオンにして 2 分以上経過してからおこなってください。

アップグレード状態:	アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。
アップグレード開始:	アップグレードを実行します。 <ul style="list-style-type: none">アップグレードができなかった場合は、ディスプレイに“アップデート”(☞81 ページ)と同様のメッセージを表示します。この場合は、ネットワーク環境を確認し、再度アップデートしてください。
アップグレード ID:	お手続きの際には、この画面に表示されている ID 番号が必要になります。



- アップグレードをご使用になる場合の詳細は、当社ホームページをご覧ください。
- お手続きが完了すると、ディスプレイに“登録済”を表示し、アップグレードします。お手続きされていない場合は、“未登録”を表示します。

“アップデート” および “新機能の追加” をおこなったときのご注意

- これらの機能を使用するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です。(☞25 ページ)
- 新機能の追加の操作は本機の電源をオンにして 2 分以上経過してからおこなってください。
- アップデート/アップグレードが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。
- アップデート/アップグレードが完了するまでに、ブロードバンド接続でも 20 分程度の時間がかかります。
- 一旦アップデート/アップグレードを開始すると、本機は完了するまで通常の操作ができなくなります。
- アップデート/アップグレードの実施後に、本機に設定したパラメータなどのバックアップデータが初期化される場合があります。
- アップグレードが失敗した場合には、“Update failed” や “Download failed”などをディスプレイに表示します。電源コードを挿し直してください。ディスプレイに“再アップデート中”を表示し、失敗したところから更新を再開します。それでも失敗が続く場合は、ネットワークの環境を確認してください。



- “アップデート” および “新機能の追加” に関する情報は、その計画が明らかになるたびに当社ホームページなどで告知する予定です。
- “アップデート” および “新機能の追加” で使用可能な新しいファームウェアがリリースされると、メニュー画面に通知メッセージを表示します。表示させたくない場合は、“アップデート”(☞81 ページ)および“アップグレード”(☞81 ページ)を“オフ”に設定してください。

ネットワーク

本機をホームネットワーク(LAN)に接続して使用できるようにするためには、ネットワークの設定をおこなう必要があります。DHCPでホームネットワークを構築している場合は、“DHCP”を“オン”に設定します(お買い上げ時の設定のまま使用してください)。これにより、ホームネットワークを使用できるようになります。各機器にIPアドレスを割り当てている場合は、“IPアドレス”の設定で本機にIPアドレスを割り当て、ゲートウェイアドレスやサブネットマスクなど、ご使用のホームネットワークに関する情報を入力する必要があります。

ネットワーク情報

ネットワークの情報を表示します。

フレンドリ名 / DHCP オン または オフ / IP アドレス / MAC アドレス

ネットワーク制御

電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。

オン (お買い上げ時の設定): スタンバイ時にネットワーク機能を使用できません。ネットワーク対応のコントローラーを使用して本機を操作できます。

オフ: スタンバイ時はネットワーク機能を使用できません。



ウェブコントロール機能や、ネットワーク対応のコントローラーをご使用になる場合は、“ネットワーク制御”の設定を“オン”にしてください。

ご注意

“ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

フレンドリ名

フレンドリ名とは、ネットワーク上に表示される本機の名称です。

■ フレンドリ名

ENTERを押すと、お好みのフレンドリ名に変更できます。



- 最大 63 文字まで編集できます。
- 文字の入力方法は、「文字入力について」([p.77](#) ページ)をご覧ください。
- お買い上げ時のフレンドリ名は、“NA8005”です。

■ 初期状態

編集したフレンドリ名をお買い上げ時の設定に戻します。

詳細な設定

IP アドレスやプロキシの設定をします。

- ブロードバンドルータ(DHCP 機能)をご使用の場合は、本機のお買い上げ時の設定で DHCP 機能が“オン”になっていますので、IP アドレスなどネットワーク接続に必要な情報を自動で設定します。
- DHCP 機能のないネットワークに接続する場合や固定 IP アドレスを割り当てる場合のみ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび DNS サーバーの情報を設定してください。
- プロキシサーバーを使用してインターネットに接続している場合は、プロキシの設定をしてください。

■ DHCP

ネットワークへの接続方法を選択します。

オン ご使用のルータから自動的にネットワーク設
(お買い上げ時の設定)：定をおこないます。

オフ： 手動でネットワークの設定をします。

■ IP アドレス

入力する IP アドレスは下記の範囲で設定してください。

- 下記以外の IP アドレスではネットワークオーディオ機能を使用することはできません。
CLASS A: 10.0.0.1～10.255.255.254
CLASS B: 172.16.0.1～172.31.255.254
CLASS C: 192.168.0.1～192.168.255.254

■ サブネットマスク

xDSL モデムやターミナルアダプターを直接本機に接続している場合は、プロバイダから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。通常は 255.255.255.0 を入力します。

■ ゲートウェイ

ゲートウェイ(ルータ)に接続している場合は、その IP アドレスを入力します。

■ プライマリー DNS、セカンダリー DNS

プロバイダから書面などで通知された DNS アドレスが 1 つの場合は、“プライマリー DNS” に入力してください。2 つ以上の場合は、1 つを“セカンダリー DNS” に入力してください。

■ プロキシ

インターネットにプロキシサーバーを経由して接続する場合に設定します。

プロキシの設定は、契約しているプロバイダや社内のネットワークなどプロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合のみおこなってください。

プロキシ(オフ) または プロキシ(オン):	プロキシサーバーを設定します。
-----------------------------------	-----------------

プロキシ(アドレス) または プロキシ(ネーム):	アドレスかドメイン名で入力するときに選択します。
--------------------------------------	--------------------------

アドレス または ネー ム:	アドレスかドメイン名を入力します。最大 38 文字まで入力できます。
---------------------------	------------------------------------

ポート:	ポート番号を入力します。
-------------	--------------



- インターネットに接続できない場合は、再度接続や設定を確認してください。(25 ページ)
- インターネットの接続についてわからない場合は、ISP(インターネット・サービスプロバイダ)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

■ 接続を開始

接続のテストをおこないます。

音量調節ボタンのリモコンコードを設定する

リモコンの VOLUME ▲▼ ボタンのリモコンコードを“可変出力”に設定すると、リモコンで本機のアナログ音声出力の音量を調節できます。

リモコンコードを設定したあと、必ずそれぞれの機器の動作を確認してください。

アンプ


(お買い上げ時の設定): マランツ製アンプの音量を調節します。

可変出力: 本機のアナログ音声出力の音量を調節します。

リモコンコードを“可変出力”に設定する

- 1 ENTER と数字ボタンの 1 を同時に 5 秒以上押す。

ご注意

リモコンで本機のアナログ音声出力の音量を調節するには、メニューの“オーディオ出力”設定も“可変出力”に設定してください。
( 79 ページ)

リモコンコードを“アンプ”に設定する

- 1 ENTER と数字ボタンの 2 を同時に 5 秒以上押す。

ご注意

リモコンから乾電池を取り外すとお買い上げ時の設定に戻ります。乾電池を交換した場合は、リモコンコードを再設定してください。

困ったときは

目次

■ こんなときの解決方法

アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい	88
現在再生している iPod の曲情報(曲名など)を本体のディスプレイに表示させたい	87
WAV ファイルを再生したい	88
電源オフ状態から簡単に操作する	88

■ 故障かな?と思ったら

電源が入らない/電源が切れる	89
リモコンで操作ができない	90
本機のディスプレイが表示されない	90
音がまったく出ない	91
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	91
iPod が再生できない	92
USB メモリーが再生できない	93
iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない	94
インターネットラジオが再生できない	94
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない	95
パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない	96
デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical)	96

こんなときの解決方法

アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい

- リモコンの DIG. OUT ボタンを押して、デジタル音声出力をオフにしてください。(P.34 ページ)
- DIMMER ボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください。(P.34 ページ)

現在再生している iPod の曲情報(曲名など)を本体のディスプレイに表示させたい

- MODE ボタンを押して、表示モードを Remote iPod モードに設定してください。(P.48 ページ)

WAV ファイルを再生したい

- 本機は USB メモリーに保存された WAV ファイルを再生できます。(P.51 ページ)

電源オフ状態から簡単に操作する

- ▶ ボタンまたは ▶/■ ボタンを押すと、自動的に本機の電源が入り、最後に選択していた入力ソースの再生をはじめます。
- “ネットワーク制御” の設定を “オン” にすると、AirPlay や Marantz·Remote·App から起動と同時に再生操作ができます。

故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない / 電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	30
	• スタンバイモードになっています。本体の ⏻ ボタンを押すかリモコンの POWER ⏻ ボタンを押してください。	32
電源が自動的に切れる。	• スリープタイマーが設定されています。再度電源を入れてください。	34
	• オートスタンバイモードがオンになっています。オートスタンバイモードでは本機が停止状態で何も操作しない状態が 15 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になります。オートスタンバイモードを無効にするには、メニューの“オートスタンバイ”を“オフ”に設定してください。	80

■ リモコンで操作ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	7
	• リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。	8
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	—
	• 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。	7
	• 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)が当たっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	—
	• 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	—
	• リアパネルの EXTERNAL/INTERNAL スイッチを “INTERNAL” に切り替えてください。	29

■ 本機のディスプレイが表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	• DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。	34

■ 音がまったく出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
音が出ない。または歪む。	• すべての機器の接続を確認してください。	18
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	—
	• 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。	—
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	—
	• アンプの設定を確認し、適切に調節してください。	—

■ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症状	原因 / 対策	関連ページ
インターネットラジオや USB メモリー再生中に音が途切れる。	• USB メモリーの転送速度が遅いとき、音が途切れることがあります。	—
	• ネットワークの通信速度が遅いか、ラジオ局が混雑しています。	—
パソコンの曲を再生中に音が途切れる。	• パソコンの曲の再生中は、プレーヤーソフト以外のアプリケーションを起動しないでください。	—

■ iPodが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
iPodが接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> • USB 端子に iPod を接続してご使用になる場合、対応していない iPod があります。 	24
	<ul style="list-style-type: none"> • iPod の接続に純正以外の USB ケーブルをご使用になると、iPod を認識できない場合があります。純正の USB ケーブルを使用してください。 	—
iPhone/iPod touch/iPad 上に AirPlay のアイコン  が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機とパソコン/iPhone/iPod touch/iPad が同一のネットワーク (LAN) に接続されていません。本機と同一の LAN に接続してください。 	25
	<ul style="list-style-type: none"> • iTunes/iPhone/iPod touch/iPad が AirPlay 対応のファームウェアではありません。最新のファームウェアにアップデートしてください。 	—
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • AirPlay の再生をしていないか、本機が選択されていません。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の画面で AirPlay アイコン  をクリックして、本機を選択してください。 	56
iPhone/iPod touch/iPad で AirPlay 再生時に音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> • iPhone/iPod touch/iPad のバックグラウンドで起動しているアプリケーションを終了してから AirPlay 再生をしてください。 	—

■ USB メモリーが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
“接続していません” と表示される。	• 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない場合があります。USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。	23
	• マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB メモリーに対応しています。	—
	• USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは USB 端子に直接接続してください。	—
	• USB メモリーのフォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。	—
USB メモリー内のファイルを表示しない。	• すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクをご使用になる場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続して使用してください。	—
	• 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。	51
	• 本機が表示できるファイル構成は最大 8 階層、1 フォルダあたりのサブフォルダとファイルの合計は最大 5000 個です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。	—
USB メモリー内のファイルを再生できない。	• USB メモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。	—
	• 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。	51
	• 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	—

■ iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ファイル名が“…”など、正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機で表示できない文字は、“.”(ピリオド)に置き換えて表示します。 	—

■ インターネットラジオが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ラジオ局のリストが表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> LAN ケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されています。接続状態を確認してください。 	25
インターネットラジオが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> 選択したラジオ局が、本機に対応していないフォーマットで放送されています。本機で再生できるフォーマットは、MP3、WMA と AAC です。 	36
	<ul style="list-style-type: none"> ルータのファイアウォールがはたらいています。ファイアウォールの設定を確認してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ルータの電源が入っているか確認してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレスが正しく設定されていません。IP アドレスを自動で取得する場合は、ルータの DHCP サーバ機能を有効にしてください。また、本機の DHCP 設定を“オン”にしてください。 	84
	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレスを手動で取得する場合は、本機の IP アドレス、プロキシを設定してください。 	84
お気に入り登録したラジオ局に接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> 時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合、音声は出力しません。しばらく経ってから選択するか、別のラジオ局を選択してください。 	36
	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ局がサービスを停止しています。放送中のラジオ局を登録してください。 	—
“接続が途切れました”と表示され、接続できないラジオ局がある。	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ局が放送を停止しています。放送中のラジオ局を選択してください。 	—

■ パソコン内やNAS内の音楽ファイルが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンで本機が認識されない。	• ご使用のパソコンのOSを確認してください。	22
	• ご使用のパソコンがWindowsの場合は、専用ドライバーのインストールが必要です。	22
パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。	• ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。対応しているフォーマットで記録してください。	102
	• 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生できません。	—
	• メディアの共有設定が正しくありません。本機がパソコンのフォルダにアクセスできるようにメディアの共有設定を変更してください。	40
サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。	• パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいています。接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。	—
	• パソコンの電源が入っていません。電源を入れてください。	—
	• サーバーが起動していません。サーバーを起動してください。	—
	• 本機のIPアドレスが正しくありません。本機のIPアドレスを確認してください。	61
パソコン内やNAS内のファイルが表示されない。	• 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。	102
NASに保存した曲が再生できない。	• DLNA準拠のNASをご使用の場合は、NASの設定でDLNAサーバー機能を有効にしてください。	—
	• DLNAに準拠していないNASをご使用の場合は、パソコンを経由して再生してください。Windows Media Playerのメディア共有機能設定をおこない、再生対象フォルダにNASを追加してください。	65
	• 接続を制限している場合は、オーディオ機器を接続対象にしてください。	—
お気に入りリストに登録したミュージックサーバーのファイルを呼び出したときに、同じフォルダ内の次の曲を再生しない場合がある。	• Remote playで再生しているファイルをお気に入りリストに登録した場合は、そのファイルのみの再生となります。	—

■ パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない

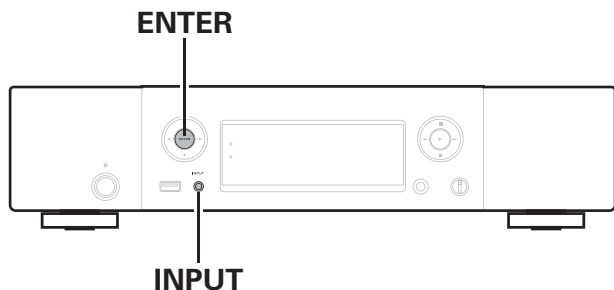
症状	原因 / 対策	関連ページ
“入力無し”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“入力無し”を表示します。 	72
“非対応です”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。 	72
	<ul style="list-style-type: none"> ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI 設定”で、“NA8005”のフォーマットが“192000.0Hz”以下に設定されているか、確認してください。 	—

■ デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical)

症状	原因 / 対策	関連ページ
“入力無し”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“入力無し”を表示します。 	73
“非対応です”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。 	73

お買い上げ時の設定に戻す

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。
各種設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。



- 1 電源コードをコンセントから抜く。
- 2 ENTER と INPUT を同時に押しながら、電源プラグをコンセントに差し込む。
- 3 電源表示部が点灯したら、ボタンから指を離す。
ディスプレイに“Initialized”を表示します。



- 手順 3 で“Initialized”を表示しない場合は、もう一度手順 1 からやり直してください。

ご注意

- 全ての設定をお買い上げ時の設定に戻すのに 90 秒程度かかります。電源を切る場合は、“Initialized”が表示されてから約 90 秒後に電源プラグを抜いて下さい。

保証と修理について

■保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から 1 年間です。

■保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

■補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■修理を依頼される時

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼される時

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼される時のために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

USBメモリーの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/WAV/FLAC)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA (Windows Media Audio)*1	32/44.1/48 kHz	48~192 kbps	.wma
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	32/44.1/48 kHz	32~320 kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192 kHz	—	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48 kHz	16~320 kbps	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192 kHz	—	.flac
ALAC (Apple Lossless Audio Codec)*2 *3	32/44.1/48/ 88.2/96 kHz	—	.m4a
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192 kHz	—	.aif/ .aiff
DSD (2 チャンネル)	2.8/5.6 MHz	—	.dsf/ .dff

- *1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- *2 Copyright [2012] [D&M Holdings, Inc.]Apache License Version 2.0(「本ライセンス」)に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記の URL から入手できます。
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>
- *3 ステレオで記録されたファイルのみ再生できます。

ご注意

可変ビットレート (VBR: Variable Bit Rate) には対応していません (再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

項目 \ メディア	USB メモリー
メモリーの容量	FAT16 : 2GB、FAT32 : 2TB
フォルダの階層数 *1	8 階層
フォルダ数	500
ファイル数 *2	5000

- *1 制限数にはルートフォルダを含みます。
- *2 USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

D/A コンバーターについて

■ 再生できるファイルの仕様

□ USB-DAC

	サンプリング周波数	ビット長
DSD (2 チャンネル)	2.8/5.6MHz	1 ビット
リニア PCM (2 チャンネル)	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	16/24 ビット

ご注意

DSD 信号、またはサンプリング周波数が 32kHz のリニア PCM 信号の再生中は、デジタル音声出力を停止します。

□ Coaxial/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2 チャンネル)	32/44.1/48/64/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	16/24 ビット

インターネットラジオ局の再生について

インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。

本機には、次のインターネットラジオ機能があります。

- ジャンル別、地域別によります。
- MP3 や WMA (Windows Media Audio) フォーマットのインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- パソコン上の Web ブラウザから当社のインターネットラジオ用の URL にアクセスすると、お気に入りのラジオを登録できます。お客様の機器ごとに管理しますので、MAC アドレスや E-mail アドレスの登録が必要になります。
専用 URL : <http://www.radiomarentz.com>
- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。
- 本機のインターネットラジオ局リストは、ラジオ局データベースサービス (vTuner) を使用しています。このデータベースサービスは、本機用に編集および作成されたリストです。

■ 再生できる放送局の仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA (Windows Media Audio)	32/44.1/48 kHz	48~192 kbps	.wma
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	32/44.1/48 kHz	32~320 kbps	.mp3
MPEG-4 AAC	32/44.1/48 kHz	16~320 kbps	.aac/ .m4a/ .mp4

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/WAV/FLAC)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。
- ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA (Windows Media Audio)*1	32/44.1/48 kHz	48~192 kbps	.wma
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	32/44.1/48 kHz	32~320 kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz	—	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48 kHz	16~320 kbps	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz	—	.flac
ALAC (Apple Lossless Audio Codec)*2 *3	32/44.1/48/ 88.2/96 kHz	—	.m4a
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192 kHz	—	.aif/ .aiff
DSD (2 チャンネル)	2.8/5.6 MHz	—	.dsf/ .dff

- *1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- *2 Copyright [2012] [D&M Holdings, Inc.] Apache License Version 2.0 (「本ライセンス」)に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記の URL から入手できます。
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>
- *3 ステレオで記録されたファイルのみ再生できます。

ご注意

可変ビットレート (VBR: Variable Bit Rate) には対応していません (再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。

用語の解説

AirPlay

iTunes または iPhone/iPod touch に収録されているコンテンツを、ネットワーク経由で対応する機器に転送(再生)する機能です。

ALAC (Apple Lossless Audio Codec)

Apple 社が開発した音声可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPod、iPhone で再生が可能です。約 60~70%に圧縮されたデータは完全に元通りのデータに再現できます。

App Store

アップル社が運営している iPhone や iPod touch 向けのアプリケーションソフトの販売サイトです。

DLNA

DLNA および DLNA CERTIFIED は Digital Living Network Alliance の商標/サービスマークです。コンテンツには DLNA CERTIFIED™製品と適合しないものがある可能性があります。

DSD (Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の1つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、 Δ - Σ 変調されたデジタルオーディオです。2.8 MHz のサンプリングレートの単一ビット値の配列で構成されています。

FLAC

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C)

2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

iTunes

アップル社が提供しているマルチメディアプレーヤーの名称です。音楽をはじめとしてビデオなどのコンテンツを管理・再生できます。AACをはじめとして WAV や MP3 など主要なファイル形式に対応しています。

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

MPEG (Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

vTuner

インターネットラジオの無料オンラインコンテンツサービスです。本サービスに関するお問い合わせは、下記 vTuner のサイトまでお願い致します。

vTuner ホームページ:

<http://www.radiomarentz.com>

本製品は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

Windows Media Player Ver. 11

マイクロソフト社が無料で提供しているメディアプレーヤーです。

Windows Media Player ver.11 で作成されたプレイリストや WMA、MP3、WAV ファイルなどが再生可能です。

WMA (Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media[®] Player を使用してエンコード(符号化)できます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。

1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ビットレート(Bit rate)

ディスクに記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

登録商標について



“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone, may affect wireless performance. AirPlay, the AirPlay logo, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle および iPod touch は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

主な仕様

■ オーディオ特性総合

• アナログ出力

チャンネル:	2チャンネル
再生周波数範囲:	2Hz~96kHz
再生周波数特性:	2Hz~50kHz (-3dB) (DSD モード、PCM サンプルング周波数: 192kHz) 2Hz~20kHz (PCM サンプルング周波数: 44.1kHz)

SN比:	110dB (可聴帯域)
ダイナミックレンジ:	106dB (DSD/192kHz) (可聴帯域) 101dB (44.1kHz)

高調波歪率: 0.0012% (1kHz, 可聴帯域)

出力レベル

アンバランス出力:	2.3V RMS (PCM) 1.7V RMS (DSD)
-----------	----------------------------------

ヘッドホン出力: 30mW/32Ω (可変最大)

• デジタル出力

同軸出力(ピンジャック):	0.5Vp-p/75Ω
光出力(角型光コネクタ):	-15~-21dBm

• デジタル入力

同軸出力(ピンジャック):	0.5Vp-p/75Ω
光出力(角型光コネクタ):	-27dBm 以上
USB (フロント):	USB タイプ A (USB 2.0 ハイスピード)
USB (リア):	USB タイプ B (USB 2.0 ハイスピード)

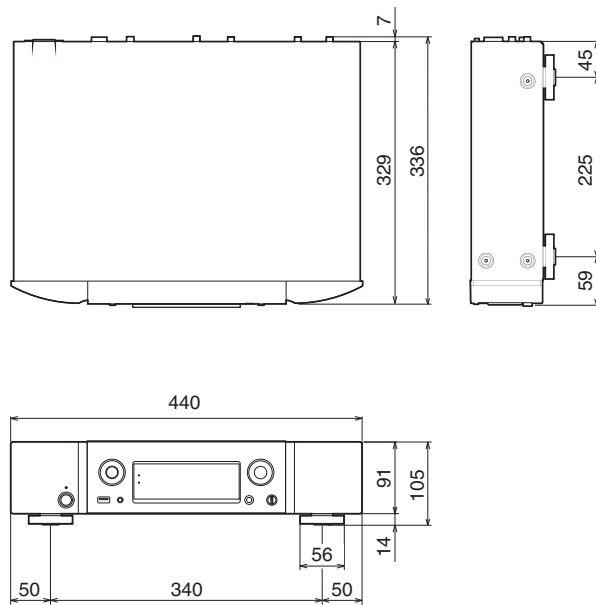
■ 総合

電源電圧/周波数:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	30W(電気用品安全法による)
待機時消費電力:	0.4W
“ネットワーク制御” 設定 - “オン” 時:	4W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法

単位:mm



■ 質量 : 7.2kg

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

索引

🔍 A

AIFF 52, 99, 102
AirPlay 55
ALAC 39, 51, 99, 102, 103
App Store 8, 103

🔍 D

D/A コンバーター機能 64, 100
DHCP 84
DLNA 103
DSD 51, 100, 102, 103

🔍 F

FLAC 51, 100, 102, 103
FLASHER IN 端子 28

🔍 I

IP Address 84
iPod の再生 47
iPod の充電 50
iPod の接続 23
iTunes 57, 104

🔍 L

LAN ケーブル 18, 25

🔍 M

MP3
..... 35, 39, 51, 99, 101, 102, 104
MPEG 104
MPEG-4 AAC
..... 35, 39, 99, 101, 102, 104

🔍 N

NAS 39, 102

🔍 R

Remote play 機能 58
RS-232C 接続 27

🔍 U

USB-DAC 22, 64, 100
USB ケーブル 18, 22, 23
USB メモリーの再生 51
USB メモリーの接続 23

🔍 W

WAV 39, 51, 99, 102
Windows Media DRM 39
Windows Media Player 39, 105
WMA
..... 35, 39, 51, 99, 101, 102, 105

🔍 あ

アップデート 81
アンプの接続 19

🔍 い

インターネットラジオ 35

🔍 う

ウェブコントロール機能 61

お

オーディオケーブル	18, 19
オーディオ出力の設定	79
オーディオ装置の確認(Mac OS Xのみ)	71
お買い上げ時の設定に戻す	97
お気に入りリスト	44
お知らせ機能	81
音量の上限	79

か

乾電池の入れかた	7
----------	---

け

ゲートウェイ	84
--------	----

さ

サンプリング周波数	99, 100, 101, 102, 105
-----------	------------------------

す

スリープタイマー	34
----------	----

せ

専用ドライバーソフトのインストール (Windows OSのみ)	65
-------------------------------------	----

た

対応している iPod/iPhone	24
--------------------	----

て

ディスプレイの明るさ	34
デジタル音声出力を停止する	34
デジタル音声入力	20
電源コードの接続	30
電源を入れる	32

と

同軸デジタルケーブル	18, 20, 21
------------	------------

に

入力ソースを選ぶ	33
----------	----

ね

ネットワーク情報	83
ネットワーク制御	83

は

パソコンに保存されているファイルを再生する	102
パソコンの接続	22

ひ

光伝送ケーブル	18, 20, 21
ビットレート	99, 101, 102, 105

ふ

付属品	6
プライマリー DNS	84
フレンドリ名	83
プロキシ	85
フロントパネル	11

ほ

ホームネットワーク(LAN)の接続	25
-------------------	----

くみ

ミュージックサーバー 43

くめ

メニュー一覧 74

くも

文字入力 77

モノラルミニプラグケーブル 18, 28

くら

ランダム再生 42, 49, 53

くり

リアパネル 13

リピート再生 42, 53

リモートコントロール接続 29

リモートコントロール接続ケーブル 18, 29


リモートモード 48

リモコン 15


リモコンコードを設定する 86

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 0570 (666) 112


FAX : 044 (330) 1367

- 受付時間 9:30～17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
- 上記番号をご利用いただけない場合  050 (3388) 6801
〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル
- お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。
<http://marantz.jp/jp/html/faq.html>
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<http://marantz.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URLは変更になる場合があります。

修理相談窓口

 0570 (666) 811

- 受付時間 9:30～12:00、13:00～17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
- 上記番号をご利用いただけない場合  0466 (86) 9520
- 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
<http://marantz.jp/jp/html/service.html>
- 代表修理窓口
首都圏サービスセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2010-16
FAX : 0466 (86) 9522

* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

marantz®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル